

デニズリへの旅...

デニズリへの旅...



トルコ共和国、南エーゲ開発機構
デニズリ投資支援事務所
2014年

製作者:

アイシェ エスイン バシユカン

— 〇 デニズリ 〇 —

投資支援事務所
コーディネーター

第3版

ISBN No: 978-605-64988-3-1

本書の無断複写・転載を禁じます。本書の一部または全体は、南エーゲ開発機構の、知的・芸術的作品に関する法的範囲内における書面による許可なしに、加工、複製、配布、複写、販売、リース、貸付、提供、再現、有線/無線システムまたはデジタル・電子メディアなどの別の方法で送信することはできません。本書は、出典を明記することを条件に引用することができます。なお、本書が使用した参考文献は、巻末に記載されています。

表紙の写真：バムツカレ・トラバーチンのクローズアップ写真
デニズリ県特別管理局資料室 - メフメト・チャクル



さあ、一緒に旅へ出かけましょう。

古代都市やコットン・トラバーチン・プール、温泉や温熱泥浴、伝統的な織機や史跡、ぶどう園やエーゲ地方の頂上、自然の不思議の滝やさまざまな伝説、地元の民謡や美味しい料理などを求めて、素敵な旅に出かけませんか？



行先は？
文明のゆりかご、デニズリ！



この都市の歴史をのぞいてみませんか？

デニズリの美しさの始まりは、紀元前261年～245年の間にシリア王アンティオコス2世テオスによって築されました。この場所は、現在の都市から6キロ北に離れたエスキヒサル・ビレッジの付近に位置し、女王の名のもとに、ラオディケ女王の都市という意味の「ラオディケイア」と名付けられました。

この都市は7世紀の大地震で崩壊し、現代のカレイチエリアに移されました。オスマントルコ族 がデニズリおよびその付近を征服した後、その町を「ラディック」と名付けています。

町の北部に位置し、起源は最古のアナトリア文明にまでさかのぼる「ペイジェ スルタン古墳」から見つかったものは、歴史が記録される前のデニズリを表しています。また、その発見により、歴史の開拓が金石併用時代に始まり、青銅器時代の間に続けられたことが明らかになっています。

初期の時代ではヒッタイトの支配が続きましたが、その後はリディア人、ペルシア人、マケドニア人、ローマ人、ビザンチン諸国によって続けて支配されていました。

また、この地は数多の文明を擁したということから、歴史的・文化的価値があります。

トルコ人は最初にデニズリに1070年に現れました。その後350年間にわたり、最終的にデニズリがオスマン帝国に組み込まれてトルコの領土となった1429年まで、オスマントルコ民族とビザンチン諸国間で支配者が変わりました。

オスマン帝国時代、デニズリはアイドゥン県の領土でしたが、デニズリの自治体は1876年に確立されました。そして1923年の共和国の宣言と共に、デニズリ統治は地方行政へと変わりました。





では「デニズリ」という 名前はどこから来た のでしょうか。

語源についてはさまざまな諸説があり、歴史的な資料でもいくつかの名前が記録されています。

セルジューク朝の記録とデニズリ裁判所登録簿ではラディックという名称が記されている一方で、イブン・バットウータの旅行記録では **Tunguzlu** と記述されています。また「メサリキュル エブサ」という本でも、**Tunguzlu** と記録されています。ティムールの勝利の本の著者、シャラフアッディン ゼムディ は、**Tenguzlug** と **Tonguzlug** という名称を取り上げています。

トルコ語で「海」を意味する **Tengiz** と、現在の綴りでデニズリを意味する **Tunguzlu** が、口伝えされるうちに、**Tenguzlu** と **Tunguzlu** からデニズリへと変わっていったといわれています。

別の風説によれば、デニズリは古代に「Domuzlu」（イノシシ）と名付けられたといえます。これは当時、この町は水に恵まれており、とても多くのイノシシがやって来たため、前説と同じように、口伝で「Donguzlu」、「Dengizli」と変わり、最後には「Denizli」となったといわれています。ですが、デニズリの研究者 ムンタズ バシュカヤ 著作の本によると、デニズリは語源的には、**Tengiz** という中央アジアからアナトリアへとやってきた部族でした。また、その著作では、イノシシからデニズリが派生するのは考えにくいことで、当時この町が非常にたくさんの水に恵まれていたことは町の名前と全く関係なかったと説明しています。同著者は、現実的なアプローチで主張し、前に挙げたような名称は別の場所にもあり、トルコにはデニズリや似たような名前を持つ地が存在すると述べています。

デニズリという名前は、語源的に「**Tengiz**」という言葉に由来していますが、それは中央アジアからアナトリアにたどり着いた部族の名前です。



産業都市。
農業都市。
観光都市。

歴史が古代数千年までさかのぼる癒しと健康の都市。
ヒッタイト、フリギア、リディア、ローマ、ビザンチンなどの文明を擁する歴史ある都市。
聖地巡礼の旅路であるエフェソス・スマーナ道路の末端に位置する重要な文明のゆりかご。

信仰ツーリズムの中心。

7,500年の貿易の歴史を持つ都市。

生産と輸出のパイオニア。

4～5世紀にまでさかのぼる織物文化のある織物地帯。
自然、歴史、文化、芸術、生活をしのばせる活気のある町。
地中海、エーゲ、中央アナトリア風土が交わる場所。
数千年にもわたり人気のある居住地。



古代都市の地： デニズリ ようこそデニズリへ。

この都市には、コロサイ、ラオディキア、ヒエラポリス、トリポリス、アッチュダからセルジューク朝、オスマン帝国から現在のトルコまでにわたる文明すべての文化の形跡があります。

この都市は、古代から現代まで、長い歴史・文化、壮大な過去、貿易などで注目を集めてきました。

また、素晴らしい文化的イベントや経験が味わえる場でもあります。

さらに、豊作をもたらす耕地、緑、生物的多様性に恵まれ、また水資源も豊富です。そのため都市名の由来となっているとも考えられています。

デニズリが擁する自然の不思議・パムッカレや、古代都市ヒエラポリスは、ユネスコ(UNESCO)で世界遺産として指定されています。



デニズリの雄鶏 / デニズリ市資料室

* 古代からのデニズリのシンボルであるデニズリ雄鶏のガラスの像が、2013年にデニズリ県により作られ、デリクリチュナルスクエアに置かれました。この像の大きさは2.6メートルで（台座を合わせると4.1メートル）、そのガラス構造により多くの注目をあつめています。この像は野外に展示されているものの中ではトルコの大きさを誇ります。

都市のシンボル デニズリの雄鶏

「雄鶏は自分の小屋でだけ鳴き声を上げるが、デニズリの雄鶏はどこでも鳴き声を上げる。」

デニズリ雄鶏は在来種で、ひときわ目を引く特徴があり、長く調和のとれた鳴き声、黒くコールで化粧したような目、長い首、力強い胸、広く長い尾、深いグレイまたは紫色の足、大きなとさか、色、体の形などを持っています。

デニズリ雄鶏の鳴き声は、甲高くも低く深いことで有名で、澄んでいてどこか悲しく、鋭く、波打つような(嘲る)声に分類されます。

この鳴き声は、雄鶏の体の姿勢にちなんで、「ライオンの鳴き声」、「オオカミの鳴き声」、「ふわふわした鳴き声」、「ヒーローの鳴き声」などといわれており、また体の形、色、とさかの形にちなんで名付けられることもあります。鳴き声を上げる度に、自らに挑戦しているようなことから、この都市のシンボルとなっています。

古代のオイルランプに描かれた雄鶏や大理石に彫られた戦う雄鶏が、古代都市ラオディケイアの発掘で見つかりました。これは、文明のゆりかごであるデニズリの有名なシンボル「デニズリの雄鶏」の歴史が、古代にまでさかのぼることを意味しています。

長い鳴き声と魅力的な容姿で注目されているデニズリの雄鶏が、自然の中で生きているのをご覧になりませんか？

デニズリ雄鶏 / デニズリ県食品・農業・畜産総局資料室



ユネスコ世界遺産リストに名を連ねる自然と文化の奇跡的な組み合わせ。 パムッカレおよびヒエラポリスの古代都市

チャル山の南のふもとから流れ出る水と酸化カルシウムによってつくりだされたユニークな美、コットン・ホワイト・トラバーチン。

「聖なる地」を意味するヒエラポリスの古代都市は、パムッカレと関連しています。そこには聖書に登場するイエスの十二使徒のひとり、聖ピリポの墓があります。

その聖なる地は、ローマ帝国時代には全てがそろった医療の中心地でした。そこには、15か所以上ある浴場で健康を取り戻すために数千人の人々が訪れていました。

この町では衛生状態が非常に大切だと考えられ 町の出入り口に

は、バス・チャーチ、ビザンチン・バス、ビッグ・バスと呼ばれるものがありました。

世界でも有数の古代のプールのひとつで、7世紀の地震の後に残った歴史的な遺跡が、癒しの水として旅行者を迎えてくれます。

墓地遺跡は、その時代の宗教的な信念を表し、その雄大さは、町の壁の外に向かいあらゆる方向にまでいきわたっています。

アポロ神殿は、宗教上の古い洞窟としても知られているプルトニオンにつくられ、数世紀にわたる困難を乗り越え、今日までその姿を残しています。



古代都市ヒエラポリスやトラバーチンは、その文化・歴史的価値から、ユネスコ世界文化遺産リストに第1級考古学的・自然遺跡として加えられ、「世界の七不思議」にも匹敵するものです。
パムッカレ/ヒエラポリス …

ヒエラポリス / デニズリ県特別管理局資料室

ユニークなコットン・トラバーチンや癒しの水が自然の奇跡を思わせますが、その美しさは、これまで多くの伝説のテーマとなってきました。神話によれば、女神たちがパムッカレの癒しの水で泳いでいたといわれています。またヒエラポリスは「神々の地」とも呼ばれ、戦争の舞台となり、多くのギリシャの神々の陰謀に関係する場ともなっています。

パムッカレおよびヒエラポリスのユネスコ世界遺産リスト追加25周年記念では、ヒエラポリスの築1800年の古代劇場の修復作業が、2年間集中的に行なわれた末に完了しました。この古代劇場が修復された後の今では、その音響構造から、コンサートや劇など、芸術的な活動に適する建造物となっています。



ヒエラポリス古代劇場 / デニズリ県特別管理局資料室



パムッカレ古代劇場 / デニズリ県特別管理局資料室

もしパムッカレで雪が降ったなら？

自然の白がパムッカレの白と出会うとき、水温36℃の古代のプールで泳いでみたくはありませんか？ この2つの奇跡を堪能してみたいかがでしょう

デニズリへの贈り物、自然。

デニズリで会えることを楽しみにしています。
。世界に2つとない驚きに出会い、多くの伝説を体験してみてください。





パムッカレ / デニズリ県特別管理局資料室



ヒエラポリス / デニズリ県特別管理局資料室



ヒエラポリス / デニズリ県特別管理局資料室



ヒエラポリス / デニズリ県特別管理局資料室

パムッカレについての伝説を聞いてみませんか？

昔々、何百年もずっと昔、チョケレス山のふもとに貧しい木こりの家族が住んでいました。そしてある日、その家族にひとりの女の子が生まれました。

ですが、その貧しい女の子の顔は醜く、誰も見向きもしませんでした。この女の子に出会った人々はみな、すぐに顔をそむけたり、避けていました。

女の子は、これを気に病み、絶望していました。そしてある日、みすばらしくて醜いことが嫌になった女の子は、チョケレスの山頂から、水や泥がいっぱいの池へと身投げしました。

女の子は水の中に入ってしばらく経ちました。すると、彼女は徐々に美しくなっていくのです。

池の水に浸かった顔は、太陽のように輝き始めました。この水が女の子を美しくしたのです。

そこへ、領主の息子であるハンサムな男性が通りかかって、傷ついた美しい女性を水の中に目にとると、ひと目で恋に落ちてしまいました。そして、彼はその美しい女の子を引き揚げ、自宅へと連れて行きました。

その後はどうなったのでしょうか？

もちろん、ふたりはいつまでも幸せに暮らしました。
2人は結婚し、幸せな人生を過ごしました。

それ以来、美しさを求める女性はみなここを訪れ、この水へ飛び込むようになったということです。

さあ、ためらうことはありません。
みなさんを歓迎できることをうれしく
思っています。



カラハユット/ デニズリ文化・観光地方総局資料室

パムッカレのトラバーチンや古代都市ヒエラポリスを訪れた後は、カラハユット方面に5キロ進んでください。そこには癒しの水があり、また違った自然の不思議を味わうことができます。

カラハユット温泉 癒しのレッド・ウォーターをお試しください

都市の中心部から20km離れた先、パムッカレから5キロ離れたところには、デニズリ温泉観光センターがあります。

カラハユット温泉は、エジプトの女王クレオパトラが泥浴をしたと言われている温泉として知られています。この温泉は、5,000年にもわたり癒しの水の源となっています。

カラハユットのレッド・ウォーター・トラバーチンの表面積は、およそ900 m² にもなります。

この温泉は、パムッカレ温泉から分岐してできたものと考えられており、その水の成分はパムッカレ温泉の湯とも似ています。その温度はパムッカレ温泉の水より高く、二酸化炭素量は少なくなっています。

カラハユット温泉は、高い放射線レベルをもつ3つの温泉の湯から成っています。

温泉の水は60℃で湧き出ており、その中に含まれ金属酸化物により赤、緑、白のトラバーチンがつくられ、すばらしい造化を生み出しています。この温泉は、「レッド・ウォーター」としても知られています。

この温泉の水は、動脈硬化、高血圧、リウマチ、坐骨神経痛、皮膚・神経病、疥癬、ニキビ、かゆみなどに効果的とされています。また、入浴すると心臓がリラックスすることで血管が広がるため、血圧が下がります。さらに、ぜんそくにもよいとされています。一方、泥浴は、体の抵抗力や体力を高めると考えられています。

王の都市:ラオディケイア

トルコでエフェソスに続く2番目の古代都市

アンティオコス2世テオス王が、妻の女王ラオディケの名において立てた町ラオディケイアは、あらゆる貿易ルートが交差する地点に位置し、その歴史は紀元前3年にまでさかのぼります。この都市はまた、古代世界において最も豊かな都市のひとつであり、織物で有名です。

ローマおよびビザンチン時代には最も重要かつ裕福な住宅地のひとつであったことから、時代の形跡を示す文化財の一つとなっています。

この古代都市から、自分の名を8月に与えた神の皇帝アウグストゥスの頭部の像が掘り出された古代都市です。ほかにこの像を展示している場所はバチカン博物館のみです。

スポーツや格闘技の中心地 その時代のゲーム

ここは、西暦60年の地震後再建された唯一の古代都市です。この地震で、ライコス谷にあるすべての町が破壊されました。

その歴史・文化的財産だけでなく、聖書に書かれている7つの教会のひとつがあることから、信仰ツーリズムの大きな潜在性を持ち、歴史・文化的価値があるとされています。

聖地巡礼教会、ゼウスと女神アテナーに奉げた神殿

この都市の教会は4世紀に世界中のキリスト教徒が聖地巡礼の旅で訪れる場所で、説教壇そして祭壇のある豪華な教会となっています。また、この場所はラオディケイアのコンスルの居所でもありました。

2000年前の古代世界で、最大の聖地がゼウスへ捧げられましたが、その聖地が古代都市ラオディケイアで掘り出されました。その発掘作業は現在も続いています。そこには高さ11メートル、重さ15トンの巨大な円柱の通路があります。壊れた円柱は、古代と同じ方法を用いて修復作業が行われています。

この都市の発掘作業中に、1700年前の、モザイクレイヤーに彫られたチューリップの彫刻が掘り出されました。この彫刻は、聖母マリアの純粋さ、清楚さ、聖なる魂、豊かさを象徴しています。これは、チューリップの発祥地がアナトリアであり、デニズリの大地で育ったということを立証しています。

1600年前の織物の一部が、デニズリのエスキヒサル区の近く、王の都市で発見されました。これは、コンスタンティヌス大帝時代の4～5世紀において修繕に使用されたもので、古代にもさかのぼるデニズリの織物文化を示しています。



ラオディケイア / オカレン・コチャイト

・ 古代都市ラオディケイアは、ユネスコ世界遺産の暫定リストに載っています。

この時代の出来事、信仰、織物、貿易センター、
王の都市がみなさんをお待ちしています。



ラオディケイア王の頭 / ウフク・ソイハン



ラオディケイア チューリップモザイク / ウフク・ソイハン



ラオディケイア織物の遺物 / ウフク・ソイハン

古代において最も重要な貿易・農業の中心地のひとつ、トリポリス

リディア地方、フリギア地方、カリア地方が交わる場所である古代都市が発見されました。現在ではブルダンのイエニジェント郡の内にあり、メンデレス川岸のすぐそばに位置しています。

西暦325年に開かれたニカイア公会議のリディアの総主教たちが載るリストに記されているキリスト教区の町。

歴史上の時代によって、アポロニア、アントニオポリス、トリポリス、ディリボルと呼ばれてきた居住地。

トリポリス古代都市 / トルガ・サルソイ資料室



トリポリス古代都市 / トルガ・サルソイ資料室



トリポリス古代都市 / トルガ・サルソイ資料室



トリポリスは、チュルクス谷にある現在のラオディケイアまで30キロ、ヒエラポリスまで20キロのところに位置しています。

この古代都市は、多くの戦争や地震を耐え抜き、ローマ時代には、最も豊かな時代を迎えました。今日まで残っている建物の多くは、ローマ時代の1～3世紀のもので、

リディア人の町トリポリスの地上の廃墟は、ローマおよびビザンチン時代の建設構造の特徴と様式を示しています。

トリポリスは、多くの文明が栄えた、劇場、浴場、建造物、大通りを擁する古代都市です。ぜひとも観光しておきたいスポットです。



古代において最も重要な宗教の中心地のひとつ、 コロサイの古代都市

コロサイ古代都市/デニズリ文化・観光地方総局資料室

デニズリから東に25km、ホナズ町から北に2km、東部道路の南側に位置する古代都市。東部道路は、古代より使われています。

この都市は、古代において最も重要な経済的・文化的中心地のひとつであり、アクス川の付近から、フリギア（アンカラ、エスキシェヒル、キュタヒア、アフィオン、ウシャク、デニズリの東部にわたる地域）とカリア（大メンデレス川からムーラおよびデニズリ西部にわたる地域）を分けるホナズ（カドモス）山の北側にわたって建設されました。

フリギア6大都市のひとつです。

1世紀初期には、ラオディケイアと並びウールや織物産業において業界をリードする都市のひとつでした。

7つの教会のすぐ近くに位置し、宗教的にも重要な中心地です。この7つの教会は、キリスト教によると、審判の日まで壊れることはないものであり、そこで聖書の聖パウロが普及活動をおこなったとされています。

古代都市コロサイは、最初期のキリスト教徒が住んでいた場所で、聖書でも「コロサイの信徒への手紙」の部分で名が上げられています。

聖書に現れる数少ない古代都市のひとつを見物してみましょう。さまざまな遺跡、アクロポリス・テュムラス、テュムラス北部の岩壁を掘って作られた室内・家屋形態の墓を見物することができます。

古代都市エウマニア

イシクラの町の近くの チブリ・ディナル道路付近に位置するペルガモン王エウマニア2世の名の下に設立された古代都市です。

フリギアの重要な都市のひとつ、ローマの宗教の中心地、そして古代史で最も重要な医療の中心地のひとつです。

標高1200メートルのサルババ丘の上に位置するこの古代都市は、二つの区画から成ります。ひとつは**アクロポリス**と呼ばれ、非常に厚い壁で覆われています。もうひとつは**ローワーシティ**と呼ばれ、水源の近くにつくられています。今では、古代都市の大部分は埋もれています。

「サルババ丘」は山岳地帯の別名で、その地帯の平地は、城に使われました。これは、特にビザンチン時代のことで、**エウマニア墓地遺跡**がその丘を囲んでいます。

一説によると、**アッタナソス・ヒエロン**の近くには重要な医学校があったそうです。そこでは、患者が助言やセラピーなどによって治療を受けたとされています。



古代都市エウマニア / デニズリ文化・観光地方総局資料室



古代都市アッチュダ / デニズリ文化・観光地方総局資料室

古代都市アッチュダ

ヘレニズム時代ごろに、サライキョイの境界内に、町から南に17kmほど離れた**カリア**と**フリギア**の間につくられた、古代の開拓都市です。

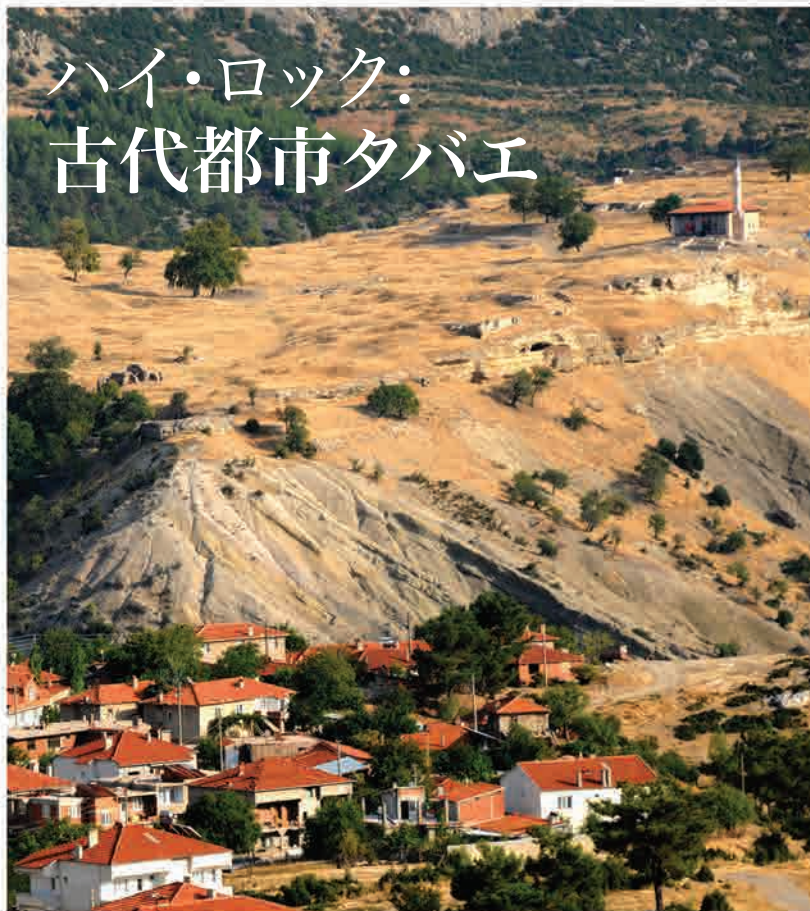
トリポリスとラオディケイアをアフロディシヤスまでつなぐ最短の道の途上にあるこの古代都市は、商業、経済、芸術のつながりにおいて重要な役目を果たしました。

様々な説によれば、アッチュダ・メンという名の神のためにつくられた神殿があり、そこには、神・メンが馬にまたがっている像があったといわれています。

アッチュダが位置するヒサルキョイからは、2世紀のコイン、石柱、アフロディーテ像の胴体、墓の覆い、建築物の廃墟などが発見されました。古くからの情報によれば、ゼウス、アポロ、ディオニュソス、アスクレピオスの像と同様、アルテミス・アナイトイス崇拝がアッチュダにはありました。

ですが、今日では、ヒサルキョイが古代都市があった場所に位置しています。そのため、町には廃墟は見当たりません。発見されたヘレニズム、ローマ、ビザンチン時代のものは、博物館の宝庫で見ることができます。

ハイ・ロック： 古代都市タバエ



古代都市タバエ / デニズリ文化・観光地方総局資料室

古代都市タバエ / デニズリ文化・観光地方総局資料室



ジェヴヘルパシャ・モスク / デニズリ文化・観光地方総局資料室

カレの町の境界内、デニズリとムーラ間の幹線道路に沿って78kmの区間にわたり位置する、ローマ時代において最も重要な都市のひとつです。1965年まで住民が生活していた都市で、ハイ・ロックと数多くの洞窟が古代より残りつづけています。

町の内側の壁は、有名なトルコ旅行者、エブリア・チェレビが著した本に取り上げられています。彼は1670年にその地を訪れています。

アレキサンダー大王の時代の後、この都市はアナトリアにつくられ、それから途切れることなく人々が生活しており、それはヘレニズム時代にまでわたりました。

この古代都市は2007年から発掘が行われ、ローマ時代のオイルランプ、銅像、大理石像の頭、アフロディーテ像、金の指輪、そして大量のコインが埋まっていました。

1・2・3世紀の、細かく彫られた銅像や大理石の像のかけらが、この発掘で見つかっています。古代からあるジェヴヘルパシャ・モスクは今日まで残されています。また、わずか尖塔を残すのみとなっているパザルイェリ・モスクも見どころがあります。

古代において最も重要な 医療の中心地のひとつ 古代ヘラクレア・サルバジェ

多くの神々にささげられた古代都市

タワスにあるクズルジャブルク郡のバキフ村の癒しの中心地です。
発見されたものは、1世紀の様子を教えてください。

この都市の西はアフロディシアス、南はアポロニアおよびタベア、南東はセバスタポリスおよびキドロモスに囲まれています。

セルバセ (ババダー) 山岳地帯の南のふもと、タベア (タワス) 平原が見える丘の上に築かれた古代都市です。この都市は、メロス川 (クルプナル川) によって、ゲイレ・カラジャスの都市アフロディシアスから区切られています。これら古代都市の川の神がメロスです。

この古代都市は、ヘラクレス (ハーキュリーズ) にちなんで名づけられました。この人物は、伝説によれば、生まれながらのその力で有名でした。古代都市の主要な神は、アスクレピオスとその妻、健康の女神ヒュゲイアです。



古代ヘラクレア・サルバジェ / デニズリ文化・観光地方総局資料室



古代ヘラクレア・サルバジェ / デニズリ行政地区資料室

ヘラクレア・サルバジェは当時の学問の世界において人気のある町で、古代の歴史で最初の病院が設立された場所のひとつでもあります。その病院は、癒しの中心地となりました。

この都市が出来た1世紀には、医学はまだ発達しておらず、また有名な学問分野でもありませんでしたが、これは古代世界における学問の一分野としては考えられていました。

アルテミス、アポロ、パン、ディオニュソス、ヘラクレスに関する神話のシーンや、12の星座を示すシンボルが、この古代都市で見つかったレリーフに彫られています。この都市の名前と一体化した神々は、ローマ時代のコインに記されています。

ヘラクレア・ヒエロンは、都市の東へ4kmほど、タワス・クズルジャブルク郡の北東1kmの、ウレン・リッジとコジャパナル地帯と呼ばれる場所にあります。

自然・文化・歴史の宝が集う場所、
デニズリ



エーゲ地方の最高峰:ホナズ山

エーゲ地方の最高峰は、アンカラ・イスタンブルとアンタルヤ・ムーラの幹線道路が交差する地点にあり、夏冬とも山頂には雪があり、将来はスキーの中心地となる予定です。

自然的、歴史的、文化的、考古学的な豊かさを持つ山頂は、地形学的にも重要な構造を持ち、一方でまたさまざまな神話で旅行者を迎えてくれます。

1995年より開かれた国立公園は、驚くような生物的多様性を持ち、とりわけ自然愛好家にとっては魅力的な場所となっています。また、第一回ワールド・エア・オリンピックのハンググライディングやパラグライディング競技が行われた場所でもあります。

古代都市コロサエの多くの墓室をはじめとする考古学的な豊かさと、力強く立派なホナズ山を代表とする自然や文化の豊かさが組み合わさった場所。

エーゲ地方の最高峰で、鳥のさえずりを聞きながら、壮大なエーゲ海地域の全景を見てみませんか？

ホナズ国立公園ビジターセンターでは、歴史的なホナズのミニチュア住居や、ホナズ山の生物、植物相、凍結した動物、115種類の花を見ることができます。



ホナズ山 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

パラグライディング

さあ、今すぐパラグライディングで、大空で鳥たちに囲まれ、デニズリの古代都市、ユニークな自然やコットン・トラバーチンを上空から見渡してみましょう。

短距離・長距離パラグライダーでデニズリの空を飛びまわる楽しさをぜひ体験してください。デニズリに来ればいつでも飛び立てます。



町に溶け込んだ自然の不思議、カルジュ山

魔法の都市デニズリを上空から見渡してみませんか？

美しく調和のとれた滝、そして極上の自然の美しさを堪能できる
カルジュ山の頂は、1年中雪が訪れる者を迎えます。

歴史、自然、文化が合わさった壮大な景色が、訪れる者を迎え入れてくれます。

少し歩けば、多くの種類の鳥や、古代の建造物とその過去の歴史
を見ることができます。

・ カズクベリ戦争が起こった地であり、今日まで残っている最も重要なトルコの勝利を象徴する場所です。

・ イスラフィル川、オマス渓谷と同様、村の生活の資源であるオマス川は、カルジュ山周辺に、全景の見えるトレッキングルートをつくりだしています。

山頂への旅行は、登山家、バードウォッチャー、自然・歴史愛好家に人気で、見逃す手はありません。さっそく出発しましょう。



カルジュ山 / ウミット・オズギュル

自然の不思議とそのモニュメント、ギュネイ滝

ギュネイの町、シンデレ村にあり、町の南の約4kmあたりを流れるメンデレス川近くにデニズリの自然の不思議のひとつがあります。

トルコの自然の不思議第23位を誇るこの川は、デニズリにもたらされた自然の贈り物です。

この滝は石灰水がゴボゴボという音を立てながら流れ、そこには数本の小川が200メートル先から流れ込んでいます。

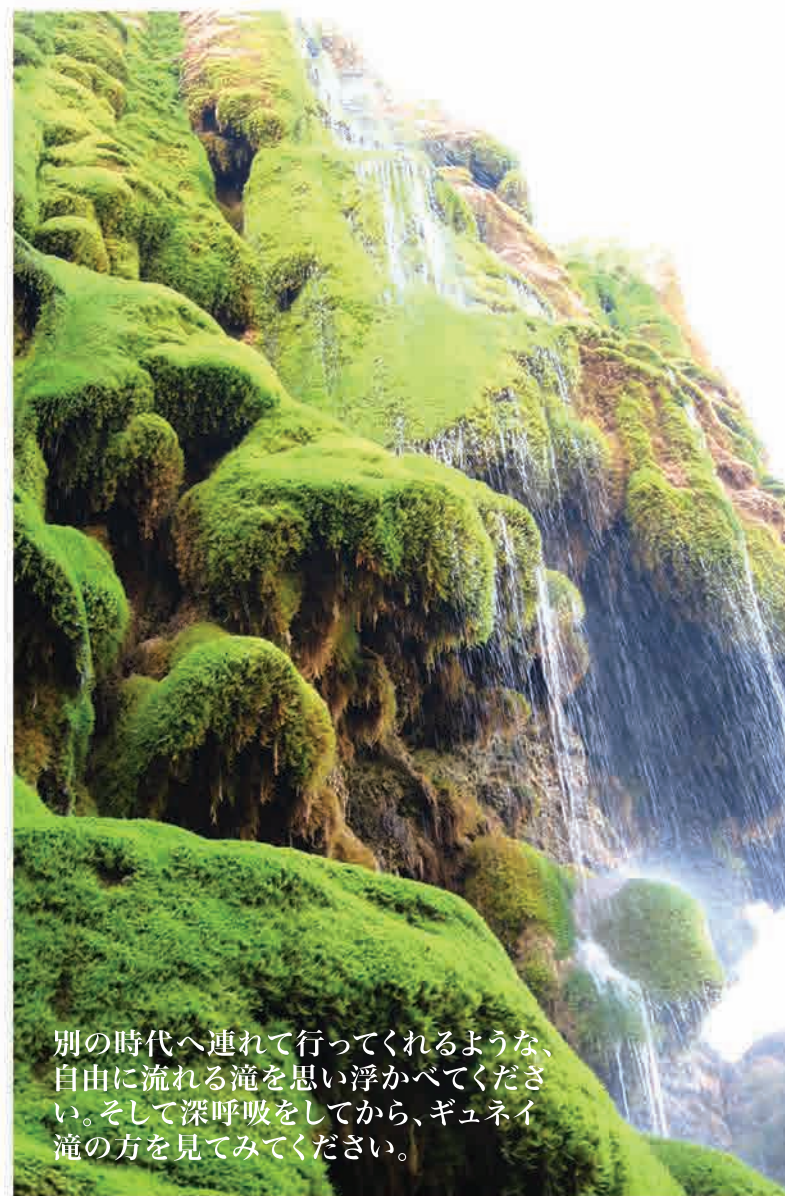
また、強い流れの水でできた洞窟や池があり、それらには、鍾乳石や石筍があります。



ギュネイ滝 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

ギュネイ滝を訪れるときには、自然の音や景観に囲まれたピクニックをお楽しみいただけます。また、田園地方のレストランでは新鮮な魚のキャセロール(蒸し焼き)やトルココーヒーをお召し上がりいただけます。

*この滝の一部は2013年5月の地すべりで崩れてしまいました。ですが、早急な対処により、この滝は再び河床へ流れています。



別の時代へ連れて行ってくれるような、自由に流れる滝を思い浮かべてください。そして深呼吸をしてから、ギュネイ滝の方を見てみてください。

ギュネイ滝 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

新しい冬の人気スポット、ボズダー

ボズダーは、冬の旅行を楽しくさせてくれるデニズリの新しい旅行地であり、ホナズ山、カルジュ山、ババダーでは山のスポーツが楽しめます。

- ・ アジュパヤムのギレニツ渓谷や、タワスのバルザ平原から上る冬の太陽をご覧ください。



ボズダー / トルガ・サルソイ資料室



ボズダー / オカン・コチイット



ボズダー / トルガ・サルソイ資料室

デニズリから84キロ離れたところに位置し、標高2420mのボズダーは、一年中雪に覆われ、その降雪や積雪量で人気のある地となっています。ここでは、スキーを中心としたスポーツを年中お楽しみいただけます。

ケルオーラン洞窟

この洞窟は、デニズリ・アンタルヤ間の交通量の多い幹線道路の近くに位置しており、非常に訪れやすい場所となっています。

壮大な自然の不思議があり、マッル山の北のふもとにあります。この山は、「観光投資の優先自治体リスト」に登録されているドドゥルガラル郡の西から3km離れたところにあり、同地方にあるアジュバヤム町の境界内にあります。

鍾乳石や石筍に彩られた洞窟には、広い入口や、自然にできた湿度・温度の高い空間が多数あります。

この洞窟の高さは5～6メートルで、内部の通路の長さは145メートルとなっています。洞窟内には割れ目に沿って、鍾乳石、石筍、石柱、洞窟生成物のある天井などが広がっています。



コウモリ/デニズリ市資料室



ケルオーラン/ デニズリ文化・観光地方総局資料室

ケルオーラン洞窟にはぜんそく患者が特によく訪れます。その入口には、コウモリの小さなコロニーがあります。



ケルオーラン/ デニズリ文化・観光地方総局資料室

洞窟に入ると、楽しい光景が広がり、通路を進んでいけば驚くに違いありません。



アジュバヤム高原 - ケルオーラン洞窟からの眺め/トルガ・サルソイ資料室

洞窟の名前についての伝説をお伝えしましょう。

あるところに、禿げ頭の若い羊飼いがいました。この羊飼いは、みなに愛されている美しい女性に恋しました。この羊飼いは、禿げ頭が理由で、この女性との結婚を許されませんでした。羊飼いは村を離れ、山や川をさまよっていました。あちこちを歩き回り、絶望を感じながらも歩き続けました。そして、とうとう、この若い羊飼いは疲れ果て、足に痛みを感じ始めました。

そこで、洞窟に入って休むことにしました。とても疲れていたので、気づかずに数日間眠り続けていました。

するとまるで伝説のように、羊飼いは目を覚ますと、気分がすっきりとしていて、頭には毛が生えていました。

羊飼いは信じられないまま、村へと走りました。
今ならフサフサで健康的な毛があります。

村に入ると、羊飼いが愛している女性がこちらを見ていました。すると、彼女も彼に恋しました。こうして、羊飼いと美しい女性は結婚し、いつまでも幸せにくらしました。

この伝説は言い伝えられ、その洞窟はケルオーラン(禿頭の少年)洞窟と名付けられました

また、別の伝説では次のように語られています。ぜんそくを患った羊飼いが、羊たちを牧場へと連れいく際に吹雪にあいました。

吹雪のための備えなどしていなかった羊飼いは、この洞窟で休むことにしました。

羊飼いは、洞窟の心地よい湿気と気温のせいで、気づかずに数日間眠ってしまいました。

羊飼いが目を覚ますと、ぜんそくがよくなり、呼吸が楽になっていることに気が付きました。

さあ、これら伝説のテーマとなったケルオーラン洞窟を訪れてみてはいかがでしょうか？



ケルオーラン洞窟 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

もうひとつの自然の不思議、カフェ高原

見つけてください。
空気、水、景色のある特別な場所を。

カフェ高原 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

製鉄、鉄の冷却・成形、剣・マチェット・銃剣・ナイフの製造を数世紀にもわたり行っています。

セレンヒサルのヤターン郡から5km、ヤターンのいくつかの村々とホナズの町々をつなぐ道の途上にある、高さ1100メートルに及ぶカフェ高原。

深呼吸をして、辺りを見渡し、小鳥がさえずる中、クロマツ、カラブリアマツ、ネズの木々の中を歩いてみてください。

ここに来れば、自然があなたを癒してくれるでしょう。また水、空気、景色を楽しむことができますでしょう。

ヤターンを訪れた際には、文化の集積の象徴、炎と鉄のダンスから生まれたヤターンソードやナイフのお土産を買うのをぜひお忘れなく。

ヤターンナイフ

カフェ高原で毎年8月の第1週末に行われるヤターン・ナイフ・フィーストでぜひお会いしましょう。カフェ高原の祝祭は、自然の宝が、労働や文化、火や水と混じりあうイベントです。



カフェ高原 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

高原の地にあるカラチョpren高原

ババダーは9つの高原があることから「高原の地」と呼ばれています。また、織物文化、歴史的建造物、天然の宝、暖かい人々が旅行者を迎えてくれます。

その高原のひとつであるカラチョprenは、夏には非常に冷たく冬には温かい水、そして自然の豊かさやユニークな景色で注目されています。

過去へ旅行してみたい方、少しゆっくりと流れる時間を過ごしたい方、機織り、折機、歴史的な木造住居を見物したい方、ババダーマーケットや歴史的名所を歩き回りたい方は、過去から現在までの織物文化をひとつにまとめるデニズリの町々のひとつ、ババダーに向かってください。



ババダー-カラチョpren高原/ババダー市資料室

温泉と泥浴のお楽しみ

温泉資源が世界で最も豊かな町のひとつ
古代からの健康の中心地

この町の温泉めぐりの中心地は、チャルダク、バイレルリ、ブルダン、イエニジェセント - ボルメカヤ、サライキョイ町のテッケキョイ、インスユ、ババジュークおよびクズルデレ地方、パムッカレ - カラハユット、アッキョイ町ギョレメズリ地方です。

数世紀にわたり有名なパムッカレの癒しの水に加え、デニズリでは、「カラハユット温泉」で健康的で活力の湧いてくる温泉を楽しむことができます。この温泉は、「レッド・ウォーター」とも呼ばれ、エジプトの女王クレオパトラが泥浴をした場所でもあります。癒し効果のあるサライキョイ・ババジューク温泉、チズメリ(イエニジェ) 温泉やバイレルリ温泉、癒し効果のある水や泥が含まれているサライキョイ・テッケキョイ温熱泥湯やギョレメズリ温熱泥湯もあります。

美しさと健康をもたらすとされている温熱泥湯。

温泉や泥浴を楽しめるだけでなく、泥からできた化粧品を使うことで若く健康な肌を手に入れることができます。



癒しの温泉 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

貿易や文化が交わる偉大なるセルジューク朝の遺産 アクハン・キャラバンサライ

ディナルを経由してデニズリとコンヤをつなぐキャラバンルートに、13世紀につくられた歴史的遺産。

デニズリ・ドーベヤジットルートに沿って立ち並ぶセルジューク朝・キャラバンサライの建物群と共に、この文化財は、ユネスコ世界遺産の暫定リストに載っています。

アナトリアの最西部の歴史的価値をもつ代表的な建造物で、セルジューク朝時代から今日まで残されている建造物です。きれいに切られた石造物、豪華で力強い石の装飾物、広々としたデザイン、お城のような外観の魅力で注目されています。

鳥の図やデニズリのほかのシンボルの中でも、ドラプジュ、トルコ・タンブラー・ビジョンのレリーフは平和、信頼、アクハンの力を示しています。

デニズリ・アフィヨンの幹線道路で見られるこの建造物は、現在、アッカレ市内にあり、その入り口に位置しています。

アクハンは外部・内部の2部の構造から成り、そこには2つの碑文が書かれています。1100㎡の広さの場所につくられており、対称的なレイアウトを持ちます。

シルクロードの南につくられた貿易ルートは、東と西を結んでいるもので、この歴史的な遺産の名前は、白い前壁にちなんで名づけられました。その歴史はアナトリアのセルジューク朝時代にまでさかのぼり、当時の壮大な社会、商業、文化的生活を象徴しています。ぜひお訪ねください。



アクハン/デニズリ市写真資料室

自然保護エリア

カックリック洞窟 (パムッカレの洞窟)

ホナズにあるカックリック洞窟は、未知の世界に出会いたい人、洞窟学を学ぶ人、そして自然を愛する人にとって外せない場所です。隠れた財宝があなたを待っています。

パムッカレ地下は旅行者を暖かく迎え、その美しさを堪能させてくれます。

この洞窟では、鍾乳石や石筍、パムッカレのようなテラス状のトラバーチン、洞窟内に差し込む日の光のダンスが、訪れる者の目を楽しませてくれます。

カックリック洞窟 / ニザミ・チュエク



カックリック洞窟の硫黄の温泉は皮膚病によいとされています。そして、訪れる者はその造形を自分の目で自由に楽しむことができるでしょう。

カックリック洞窟 / デニズリ市資料室

遊牧文化が残る町、ボズクルト

この町は、偉大なるリーダー、アタテュルクにちなんで名づけられ、現在でも遊牧文化が残る町です。ここでは、その文化を間近で見ることができます。

泥れんが造りの住居は、1階建てで大きな中庭があります。これは、ブルガリアからの移民のトルコ人によりつくられ、2つの文化が融合してできたものですが、そこからさらに、彼らのさまざまな建築様式によって分化してゆき、ボズクルトハウスと呼ばれるものとなりました。

大きな労力でつくられたカーペットやじゅうたんは、当時の文化的な生活、願い、喜び、団結の痕跡を伝えています。

- ・ 豊作をもたらす土地、ハンバット平原。

- ・ 4メートルから200メートルの幅を持つ、輝くカラクス・キャニオン。

- ・ 雪溶け水や雨水が流れこむ、松の木に囲まれたクレーター湖、カラギュル。

- ・ そして、おいしく伝統的な料理のスタイル。

文化、社会生活、遊牧民の文化の豊かさを手軽に体験したり、伝統的な調理法でつくられたおいしい料理を味わいたいのなら、ぜひデニズリ西部にあるこの町を訪れてください。



ボズルトハウス / ボズルト市資料室



ボズルトハウス / ボズルト市資料室

重要な地形のひとつ サクズジュラル滝 (クライング・ロック) (鳴く岩)

チョケレス山を登ることで見ることができる、自然の貴重な宝、サクル(隠された) 谷には驚くことでしょう。

チョケレス山の北に位置するサクズジュラル滝は、チャルの町の境界内にあり、ダルデレから水が流れています。この滝は標高950メートルの場所にあり、その水は、30メートルの高さから流れ落ちていきます。

この場所では、おいしい魚を味わい、やすらげる水の音を聴くことができ、冷たいそよ風のおかげで真夏でも自然を堪能することができます。

この自然の不思議がもたらすユニークな景色はクライング・ロック (鳴く岩) とも呼ばれ、マスを食べたり、ピクニックをしたりして楽しむことができます。



クライング・ロック / チャル市資料室

ゆっくりくつろげる場所 チャルチャクルラル村

石垣や土の屋根のある変わった建築様式の住居が、現在の忙しい世界から遠い過去へと連れて行ってくれます。

チョケレス山の裏にある神秘的な場所を訪れてみてはいかがでしょうか？

岩を刻んで作られた、ノスタルジーに満ちた狭い路地や、屋根から屋根へとつながった橋のあるチャルのチャルチャクルラル村は、まるで異世界のようなです。

伝統的な生活様式を続けている暖かい村人たちとお話してみてもいいのではないでしょうか？

お立ち寄り際には、第1級自然保護サイト、チャルチャクルラル村洞窟も訪れることができます。

2つの場所をつなぐ2つの通路から成る、この自然の奇跡は、洞窟学者にとっては特に興味深い場所で、ぜひ訪れておきたい場所です。この洞窟は、這ってでないと入ることができません。



チャルチャクルラルキャニオン / チャル市資料室

チャル・クスク・キャニオン / チャル市資料室



チャル・クスク・キャニオン / チャル市資料室



歴史と文化の隠れ発祥地 ベキリ・メデレ村 (イエシルオバ村)

メデレ村ではメンデレス川が見え、古代文明の痕跡が残されています。伝統や風習、やわらかく衰えることのない絨毯、古代の建造物、碑文、古代の像のかげら、埋葬された聖人、伝統的なトルコの芸術のモチーフなどに囲まれた、全くの別世界を訪れることができます。

歴史や文化やノスタルジーが、土地からあふれるこの村を訪れなければ、多くのものを見逃してしまうでしょう。



メデレ / ニザミ・チュブク



メデレ 歴史的建造物用石材/ニザミ・チュブク

自然、水、そしてそこにアドレナリンが加わるラフティング デニズリに来ているのですから、ラフティングしてみたいはいかかでしょうか？

生活の源である大メンデレス川は、バキリ町の境界内へ入ると、荒々しく、怒っているような様子になり、流れが強くなります。まるで川が興奮し、あなたを弄んでいるかのようです。

バキリ川では、激しい水流、わくわくするような素晴らしい景色を目にすることができます。この川は、9.5キロという長さで、トルコ国内トップ10のラフティングルートの内に入られています。

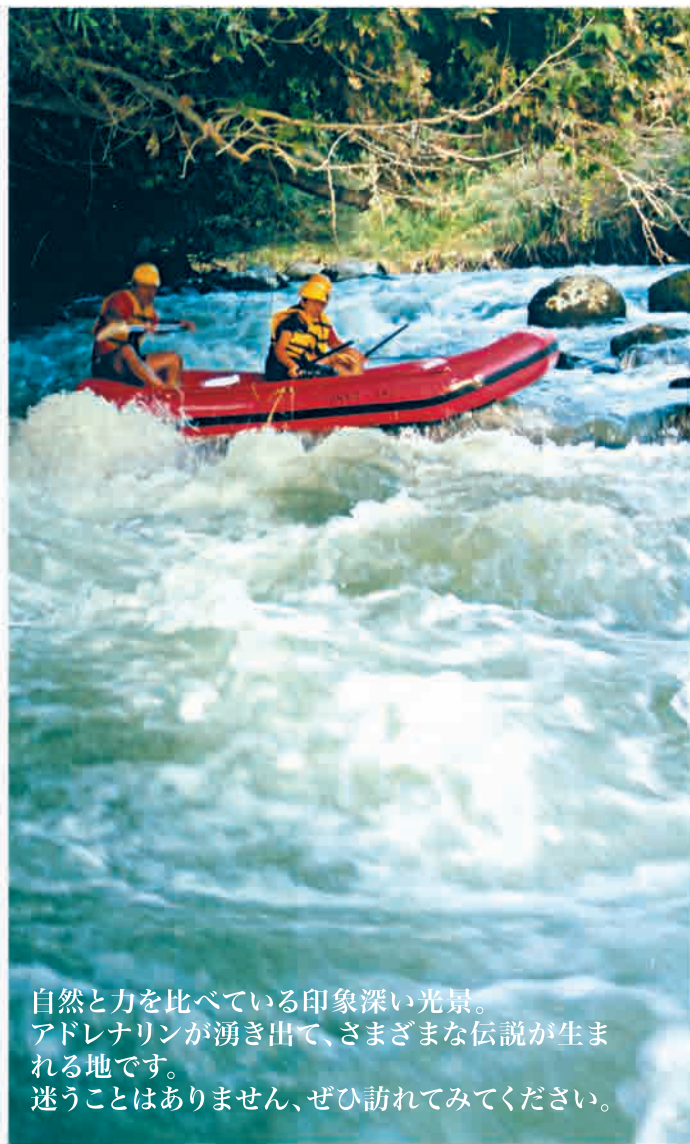
バキリ川は、季節によって水位が変化します。ですが、ラフティングは年中を通して行うことが可能です。とはいえ、ラフティングを行うのに最も適した時期は、雪が溶ける5月から7月の間です。

3～4段階のレベルに分かれた挑戦者向けのコースは、約2時間で下ることができます。また、同じ場所で同じく約2時間で、より簡単に下ることのできる11kmの第2コースもあります。

このコースの開始地点には、長さ5kmのマンクルン・クスク・キャニオンがあります。ここには、大メンデレス川が70cmという狭いエリアを流れ、すばらしい景色をつくり出しています。また、この場所は多くの悲劇のストーリーや伝説のテーマともなっています。



ラフティング / デニズリ文化・観光地方総局資料室



自然と力を比べている印象深い光景。
アドレナリンが湧き出て、さまざまな伝説が生まれる地です。
迷うことはありません、ぜひ訪れてみてください。

ラフティング / デニズリ文化・観光地方総局資料室

天国の一角のような場所 アクダー・トカル峡谷

デニズリのチブシル町と、アフィヨンカラヒサルのサンドゥクル町内にあるもうひとつの自然の不思議。

全長26kmにもわたる峡谷の冷たい水は、旅行者を冒険へと誘います。そこでは、多様な生態系、歩きがいのある小道、一味違った気分を感じさせてくれる景色が迎えてくれます。

この峡谷の最も狭いところは、わずか1.5mほどで、空も見えないほどです。これは、巨大な岩が25mの上空から落下し、峡谷の壁の間に挟まったことが原因です。この地の巨岩や、峡谷に関する伝説では、次のように言われています。ローマ時代、峡谷の最も狭く、通ることもできないような場所に金が保管されていました。そこには錠付きの金のドアがありました。しかしある日、巨大な岩が落ちてきて、錠付きの金のドアを塞いでしまったのです。それ以来、誰も峡谷に入ることができなくなりました。

今日、この宝の存在やこれらの伝説の真相を知る人はいません。長年にわたり、この地域では、この峡谷を通ることはできませんでした。ですが、1993年11月7日、10人のグループが史上初、この峡谷の横断に成功し、この地を観光地としました。



アクダー・トカル峡谷 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

この峡谷の標高1600mの地点に徒歩で到達するには7～8時間ほどを要します。さらに進むと、標高900mのチブシルのギュムッシュ郡に達します。トカル峡谷の1200m地点では、場所により高さ200mにもなる岩盤により形成されています。この岩盤には、多くの裂け目や小川があり、最も広い場所では4メートル、狭い場所では1.5メートルという川が、これらの岩の間を流れます。河床から山裾に向かって上ることで、ウシュクル湖やギュムッシュ郡を見ることができます。



この川は、峡谷を通り抜ける魚であふれており、その水は冷たく、トレッキング後には、自然をゆっくり堪能するのに最高の場所になるでしょう。

アクダー・トカル峡谷 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

滝壺近くを通る人々を癒やす ホーマ (ギュムツシュ) 滝

チブリル・ディナル構造盆地は、自然と文化の宝が豊富な場所で、例えば次のようなものがあります。

ウシュクル湖やギョクギョル湖、アクダー自然公園、ウシュクル、ユヴァ、ギョクギョル、スチュカンの泉、古代都市ウシュクル、バイジェスルタン 古墳、そして自然の不思議・ホーマ滝

この滝は、ギュムツシュ郡のチブリル・ディナル道路の途中にあり、チブリルから30kmのところにあります。これもまたひとつの自然の贈り物です。



ホーマ滝 / トルガ・サルソイ資料室



ホーマ滝 / ウミット・オズギェル



ホーマ滝 / ウミット・オズギェル

滝の近く、自然と文化の不思議に囲まれ、水の心地よい音、静かな緑に囲まれながら、ピクニックをお楽しみいただけます。この滝はアクセスもよく、アカダー自然公園内、プナルバシュ (コジャプナル) 泉、トカットルキャニオンなどの近くに位置しています。この地を楽しんだ後は、近くにあるほかの財宝めぐりに行くこともできます。

ベイアーチのチチェツクババの頂上にある 巨大なクロマツの森 には、多くの在来種が 生息しています

サンドゥラス山の頂上まで登ると、数千本の木に覆われた森が突然現れるでしょう。これらは、長年にわたりその地で耐えて生きてきた木々で、その壮大さは旅行者を圧倒し、おとぎ話の地へと連れ出してくれることでしょう。

これらの木々は、数世紀にもわたりただずんでおり、まるで長老のように、人間の進化、文明の誕生、地域の発展、時代の流れ、多くの自然の変化、人類の歴史に影響を与えた出来事などを近くで見守ってきました。

この森の木々の歳は、500年から1500年までと、世界においても類がありません。

この森は、野生のオオヤマネコが生息する第1級自然考古学的サイトとして扱われています。オオヤマネコは、トルコ人や野生のヤギと共に中央アジアからやってきた、非常に珍しい動物で、今ではほとんど見るこのできない動物です。

この森のクロマツを、世界最古のものとしてユネスコ世界遺産リストへ登録するための申請が、すでに行われました。この地の面積は1309ヘクタールで、山頂には数千本の木があるとされています。また、この地はチチェクリ地方のカルタル湖も含み、自然保護エリアとなっています。

8月末にこの地を訪れるのであれば、チチェク・ババの名の下に開催されるエレンの祭日に参加することができます。エレンの祭日の準備と宴会は、全く別の世界へと旅行者を招待するでしょう。



奉納と生贄の伝統行事の準備がイベントの数日前から始まります。また、イベントの前日では、人々がカルタル湖へと登り、テントを張り、寝床を作り、それぞれのテントを訪れるなどします。祭りの当日には、人々は朝早く起床し、夜明けからエレンの地へと1時間かけて歩き、生贄の動物と一緒にその辺りを歩き、そして、祈りや願いを込めて生贄を奉げます。



サンドゥラス山のふもとにある見事な自然、巨大なクロマツの森、カルタル湖、トプクル高原などが、旅行者を待っています。

現在の世界にしながら、歴史を体験してみたいはいかがでしょうか？

コーヒーや、デニズリ名物の健康的な料理を味わいながら、歴史を体験してみませんか？

イブレイム・カルス・アートハウス / デニズリ市資料室



デニズリセンターでは過去と出会うことができます。そこでは、当時の建築・文化・生活スタイル・社会の様子を、現在に伝えていきます。また、隣接したコンヤルオールハウス（ブルーハウス）やオスマン・ベイ荘園とイブラヒムカルス・アートハウスは、町の中心にあり、旅人を歴史の冒険へと連れ出してくれます。



オスマン・ベイ荘園



コンヤルオールハウス / アッティライ・アールバシユ



さあ、ブルダンに到着しました。

歴史的なブルダンハウスをぜひ訪れてみてください。ブルダンハウスは旅行者を歓迎し、過去と現在を結びつけてくれます。エヴリヤザーデル荘園は、ブルダンの独特な価値・織物・料理・社会を知る生きた証人です。

地元のオリーブオイル料理や、特製のトルココーヒーを、伝統的なブルダンハウスのポーチでお楽しみください。

ブルダン旧市街で、伝統的な建造物を見物してください。歴史的な街道を歩き、過去への旅行をお楽しみください。

歴史的な名所、ブルダン・チェレビル荘園を訪れ、ブルダン地元の食べ物を味わってみてはいかがでしょうか？



ババダーの昔ながらの家を訪れ、歴史への旅を続けましょう。

ババダーはデニズリ県の中で最も多くの伝統的な家がある町です。

これら色鮮やかな住居の中でも最も大きな部屋は、地元の人々に「家」と呼ばれています。これらの住居は、一番大きいもので3階建てとなっており、木彫りのドアや窓枠が目立ちます。また、石造りの暖炉があり、これは「空っぽのかまど」と呼ばれ、暖房や料理に使われています。また、色鮮やかなラグの掛かったソファベッドもあり、カップを置く棚にはレースの細工が施されています。

この高原の地にある住居でさえ、過去の面影を残す建築様式を見ることができます。



ババダー / ババダー市資料室



ババダー / ババダー市資料室

伝統的なカレイチ(城内)バザール

800年の歴史をもつ市場、市内の観光地のひとつで歴史の香りを漂わせる、**伝統的なカレイチ(城内)バザール**

ここは町の遺産であるヤターンナイフや、セリンヒサル土器の壺、そしてデニズリの歴史的、文化的、伝統的な織物が見られる場所のひとつです。

伝統的な工芸品、銅、ブリキ、彫刻の最後の原盤、銅の成形やスズめっきなどを見ることができ、ここで手工芸品を購入できます。

この歴史的な地位を持つ市場の全長は、約800メートルで、1メートルの厚さの城壁に覆われています。ここは旅行者をノスタルジーに満ちた時へ案内してくれます。

城内での生活は、そこから5km離れたラオディケイアが放棄された後、11世紀に始まりました。市場の壁は、トルコ人がアナトリアへやってくる前のビザンチン時代につくられました。この歴史的な市場には、バイラムイェリ門、クチュックカプ・デミルジレル門、ギョクボヤジュラル門、ドルトチェシュメ門、イェニカプの5つの門があります。また、この市場には、噴水が7か所、貯水用噴水が2か所、洗面所が6か所、モスクが2か所、貯水池が数か所にあります。クルシュンルモスクの下にある湧泉は、セルジューク朝によりつくられ、市場の水需要を満たしています。



伝統的な城内マーケット / ウミット・オズギュル



伝統的な城内噴水 / デニズリ市資料室

デニズリに海はありませんが、湖があります。

デニズリは、豊かな水源にめぐまれた町です。

地下水、湖、温泉、水路などが自然から与えられ、デニズリは自然から恩恵を受けています。

水の都市デニズリには海はありません。ですが、湖によって囲まれ、豊かな植物相・動物相をもつため、多くの生物が生息し、素晴らしい景色が見られ、そのために様々な商業活動が行われています。

・ブルダンのスレイマニエ湖やペイアーチのカラギョル湖、チプリルのウシュクル湖やチャルダクのアジュギョル、アジュパヤムのウジャル湖やホナズのサクルギョル、ボズクルトのスルクルギョル やチャムバシュ-カラギョルなど、この都市は湖に囲まれているのです。

季節によって景色が変わるデニズリの湖を観光して、鳥たちのさえずりを聞きながら、自然の中心で安らぎのひとときを過ごされてはいかがでしょう？





ウシュクル湖 / ウミット・オズギュル

町の中で深呼吸してみるのはいかがでしょうか？

きれいな空気に包まれた町の公園を訪れてみましょう。



緑にあふれ環境に優しい、市民と旅行者に健康的で活力のある生活を提供する活発な町

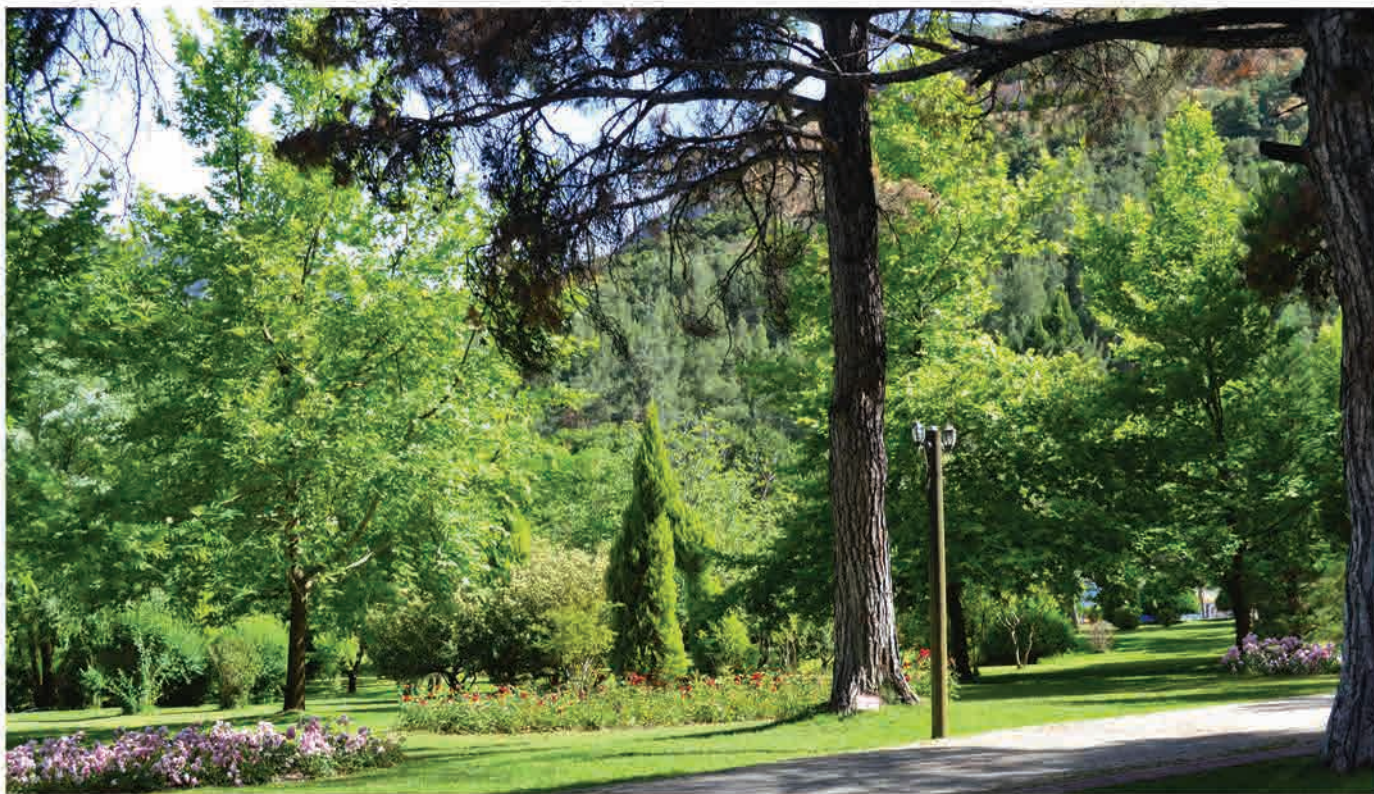
デニズリ



デニズリには、日々の忙しくストレスの多い生活から逃れさせてくれるような公園が数多くあります。これらの公園では、自分ひとりでも、愛する人と一緒でも、リラックスしたり、安らぎのひと時をお過ごしいただけます。デニズリは、「トルコで最も環境に優しい都市」として環境森林保護省より指定され、世界保健機関（WHO）からは「健康都市証明書」が与えられています。

爽やかに呼吸する都市、デニズリの中心では、自然を堪能することができます。

- ・ チャムルク公園
- ・ インジリアル公園
- ・ アダレット公園
- ・ ケントの森
- ・ ユヌス・エムレ 公園
- ・ シュメル公園
- ・ エスキサル公園
- ・ バーバシュ公園
- ・ セビンディク公園
- ・ ハサン・ギョメルル公園
- ・ テキン・アクマンソイ公園



チャムルク公園の景色 / 南エーゲ開発機構資料室



チャムルク公園の景色 / 南エーゲ開発機構資料室

町の中心で自然を堪能できる場所 、チャムルク公園

町の中にあり守られているこの場所は、全く異なる空間へと足を踏み入れることができます。

森の木々はその雄大さで旅行者を歓迎し、鳥たちは交響曲のコンサートを披露します。

チャムルクの森・レクリエーション・グラウンド、またはチャムルク公園には、人工池、動物園、子供の遊び場があり、鳥たちのさえずりや水の音を聞きながら、頭を休めたり、スポーツをしたりピクニックをすることができます。

ピクニック場、天然のトレッキングルート、ジョギングトラック、タイルや石で舗装されたウォーキングトラック、3か所の池、3か所の木造の軽食ビュッフェレストラン、駐車場などがあり、他にはない特別な緑の空間が、まるで天国にいるかのような気持ちにさせてくれます。



チャムルク公園 / デニズリ市資料室

都市の中心でも、自然の中で過ごすのを忘れなく。



チャムルク公園 / 南エーゲ開発機構資料室



チャムルク公園 / 南エーゲ開発機構資料室



文化・商業活動

デニズリには、商業活動が幅広く行われている場所がいくつもあり、投資のチャンスを大いに秘めています。織物・衣類産業から大理石産業、有機農業・温室栽培から金属加工、ワイヤー・ケーブル産業から機械製造、革加工からガラス・セメント、化学・プラスチック製品から水耕農業、温泉旅行業からブドウ栽培・ワイン製造、宗教・文化ツーリズムから自然ツーリズムまで、幅広い部門が投資対象となります。

ブルダンと織物

イブン・バットウータはブルダンについて次のように書いています。「……金がちりばめられた最上の綿織物がそこでは製造されている。その地の織物は、丈夫で良質の木綿糸で織られているため、非常に長持ちする。この織物は町の名前にちなんで名づけられている。」14世紀では、織物は生活そのものでした。

オスマン帝国時代の宮廷人は、この織物には癒しの効果があると考えていました。ブルダンの織物は、夏の間も涼しくすごせる、軽くて快適な織物であったのです。

織物は数世紀にわたり、手工芸品で飾りつけられ、セイヨウアカネで染められてきました。

デニズリでは、織物文化の歴史は7000年にも及び、独自の文化的な構造や社会生活があると言われています。

ブルダンの織物の中には、オスマン帝国の建国者オスマン・ベイの父である、エルトゥールル・ガーズイーの下着、孫のムラト・ヒュダヴエンディギャールのかぶり物や羽織、スルタン・イユルドウルム・バヤズイトの娘の花嫁衣装、オスマン帝国提督・バルバロッサのショール、スルタン・ゲンチ・オスマンのシャツが含まれています。



ブルダン織機 / トルガ・サルソイ資料室



ブルダン織物 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

小さくも絵画のように美しい現在のブルダンは、今でも独自の文化を守っていて、上品なドレスが目を引き、暖かくもてなしてくれます。ブルダンを訪れた際は、織機をめぐったり、手工芸品の購入したり、スレイマンル湖（ヤイラ湖）やケスターネ川の訪問したり、エヴリヤザーデル荘園の観光をしたり、トルココーヒーやナス・玉ねぎ（デニズリ方言でバルジャン・ソパン）を味わったり、観光名所の丘として有名なトブラックチ・カシュに登ってブルダンのすばらしい景観とパムッカレまでの広範な地域を見渡したり、石張りの道の散歩をしたりすることをお忘れのないように。

クズルジャブルク / クズルジャブルク市資料室



クズルジャブルク織物 / クズルジャブルク市資料室



クズルジャブルク織物 / クズルジャブルク市資料室



クズルジャブルク現地の家屋の雰囲気 / クズルジャブルク市資料室

クズルジャブルクと織物

エヴリヤ・チェレビの旅行記には、この600年の歴史をもつ町の織物産業が「クズルジャブルク織物生産」として記述されています。

オスマン帝国時代、多くの高官、皇太子、役人の衣類がつくられた場所です。

ブラッド・ピット主演の映画「トロイ」のコスチュームが製造されたリトル・ビッグ・タウン。

技術の発展にもかかわらず、従来の伝統的な織物の製造過程を維持するために、木製の織機がこの地では使用されています。

ここの人力織機でつくられた織物は、世界でも人気があり、それぞれのモチーフが独自の物語を伝えています。

農業

豊作をもたらす耕地そして地理的特徴により、幅広い農産物が栽培できる県

次の農産物を味わったことはありますか？

ホナズ・チェリーはユニークな味わい、質感、風味をもっています。

ユニークな風味、香り、色で知られるチャルのチャルカラサぶどうは、貧血や細胞再生に良いとされています。

グリーン・ブラック・グレープは、種無しグレープの中心地、ブルダン・イエニジェントで栽培されています。

世界一美味しいワインに使われるギュネイぶどうが生産されています。

アジュパヤム産メロン、スイカ、タイムは、味、保存性、香りが優れています。

トルコのリンゴ栽培の主要な町のひとつ、チブリルリンゴまたはチャメレリンゴは、味と香りがほかのリンゴとは異なります。

ウルルガナルで育つヒジャスザクロは、その赤い皮、暗褐色の種、すっぱい味で有名です。

通常の6倍のカルシウムを含むカレ胡椒と、カレ蜂蜜は、カレの町でのみ作られています。

クズルヤルマルメロは世界に輸出されています。

バ克蘭のひまわりの種とチブリルのひまわりの種は、トルコのひまわりの種生産に大きく貢献しています。

サライキョイのトマトとプラムは地熱の温室生産で有名です。

ホオズキとして知られる、グラウンド・チェリーは、デニズリのチャメレで主につくられる健康の源です。

デニズリの煎りひよこ豆は、トルコの生産量の80%を占め、セリンヒサル、トバス・クズルジャ郡、セントラルタウンで主に生産されています。

チャメレのマスは良質かつ冷たい水で育てられています。







ぶどうおよび ワイン生産

重要なブドウ園、テーブルワインそして干しブドウのある優れた都市、デニズリ。

ブルダン - イェニジェント、チャル、チブリル、ギュネイ、アジュパヤム、ホナズ、バ克蘭、バキリなどのぶどう。

ギュネイの町のブドウ園が生み出す、他に匹敵するものがないほどおいしいワイン。

チャルカラサぶどうからつくられたワイン。

世界に二つとない風味を持つぶどうや、そのぶどうから作られるおいしいワインはまだお試しになっていませんか？



有機農業と 地熱温室栽培

デニズリには豊作をもたらす耕地や豊富な取扱い製品があるため、農業・農生産における大きな投資ポテンシャルがあります。

デニズリは最も重要なトルコの地熱資源をもっており、有機農業や地熱温室栽培が注目されている投資対象となっています。

サライキョイ、クズルデレ、テッケハマン、ババジュク、ブルダン、ブルメカヤ、イエニジェント、アッキョイ - グレマズリ、カラハユット - パムッカレおよびチャルダク地方が温泉のあるエリアとなっています。地熱温室栽培を積極に行う町サライキョイでは、特別産業組織地帯が確立されています。トルコ初の試みであるこの地帯が、投資家たちを心待ちにしています。

ビニールハウスおよびガラス温室栽培は、サライキョイ、チャメレ、アジュパヤム、ベヤジの町で行われています。サライキョイ、ブルダン、アッキョイの町の温室は、潜在している地熱エネルギーを使用して温めています。



畜産

デニズリは、ミルク生産・加工においても大きな可能性を秘めた町です。

トルコ内でEUの基準を満たしている証明書を持つミルク農場は14か所のありますが、そのうち7か所はデニズリにあります。



畜産 / ウミット・オズギュル

煎りひよこ豆の生産

伝統のお墨付きの味、デニズリの煎りひよこ豆

トルコが生産する煎りひよこ豆の80パーセントが、セリンヒサル、タワス・クズルジャ郡、セントラルタウンでつくられています。

わたしは煎りひよこ豆

熱々で

一度食べたら忘れられない

デニズリがわたしの生まれ故郷

技術の発展と伝統的な製造法を組み合わせ、現在、誰もが愛する煎りひよこ豆が30種類以上生産されています。イエロー・煎りひよこ豆、チョコレート味、スパイシーなもの、カーネーションキャンディ、モカ風味やゴマ味、はちみつ味の煎りひよこ豆など、幅広い種類があります。



デニズリの煎りひよこ豆 / セリンヒサル自治区資料室

トラバーチンと大理石産業

デニズリ公認のトラバーチンや大理石は、バスルームやキッチンだけでなく、ハリウッドのセレブ達の豪邸も飾りつけています。

最も注目されているデニズリ・トラバーチンは、コジャバシュ・バリク山峡から切り出されたものです。

数百年もの歴史をもつ大理石文化のある町、デニズリ。

古代都市ラオディケイアの発掘で見つかった、およそ1500年もの歴史を持つ大理石コーティングや石切場が、これを証明しています。発掘で見つかった大理石の石切場は、ヨルダンおよびエフェソス古代都市ゲラサにある同様の石切場より後で、同時期につくられた第三番目の石切場であると想定されています。

この発掘の結果、大理石文化はローマ時代までさかのぼることが判明しました。また、加工された大理石の柱も発見され、ローマ人は、水、ワイヤー、砂を使い、水の力で大理石のコーティングを切断したと考えられるということがわかりました。

目に見える大理石やトラバーチン埋蔵量という点で、トルコにおいて最も豊かな町のひとつデニズリには、60万立法メートルもの大理石生産力があります。この町には大理石特別産業組織地帯があります。デニズリは、発展した物流施設や同産業部門におけるノウハウをもつユニークな町となっています。

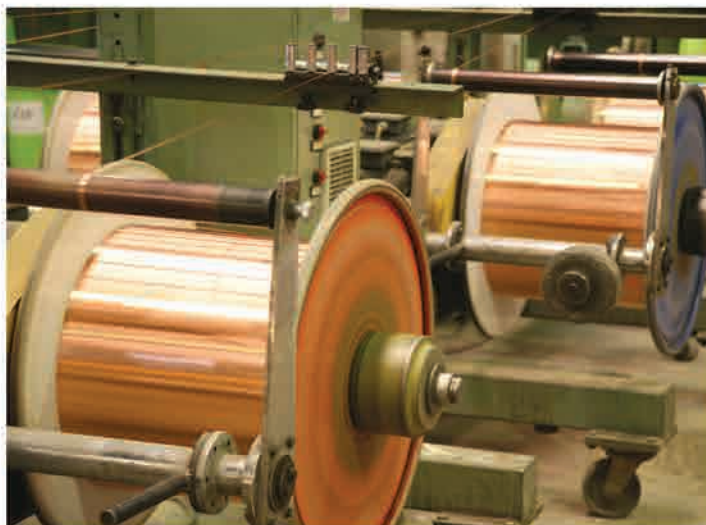


銅線・ケーブル産業

NASAが使用するケーブルの銅線を
製造する町

デニズリの主要産業部門のひとつ。

輸出の割合が高い産業部門は、電解液、銅線、電源ケーブルなどを製造する部門であり、トルコ大手企業1000社の存在は、この部門の発展と力を示しています。



銅線工場

土と火の愛から生まれたもの チェシュミビュルビュル(ナイチンゲールの眼) とベイコーズ・ガラス

ガラス製品は、オスマン帝国時代の最盛期から現在にいたるまで、困難な道のりを歩んできた芸術品です。これら製品は、デニズリから世界全土で親しまれています。

チェシュミビュルビュル(ナイチンゲールの眼)とベイコーズ・ガラスは、トルコのエレガントなガラス細工の代表作です。これは、文化の蓄積、経験、ガラス職人の夢と想いが合わさってできた芸術品といえるでしょう。

この芸術品を愛するのは、過去から今日そして
宮廷から家庭までと、幅広い人々です。
ただ心を開き、挨拶してみてください。



チェシュミビュルビュル(ナイチンゲールの眼)生産/ デニズリ文化・観光地方総局資料室



チェシュミビュルビュル(ナイチンゲールの眼)とベイコーズ・ガラスを自宅に飾ってみてはいかがでしょうか。これら製品は、世界中で親しまれているガラス加工品であり、この町の中心から生まれた芸術品です。

(ナイチンゲールの眼)/デニズリ行政区資料室

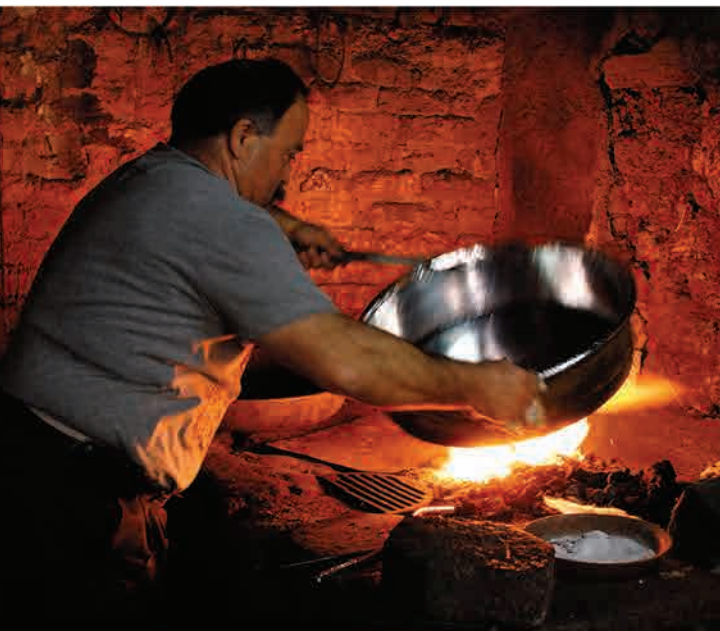
優れた技を持つ銅細工の職人が力を注ぎ込んだ芸術品

1世紀もの歴史をもつデニズリの伝統的な工芸品。

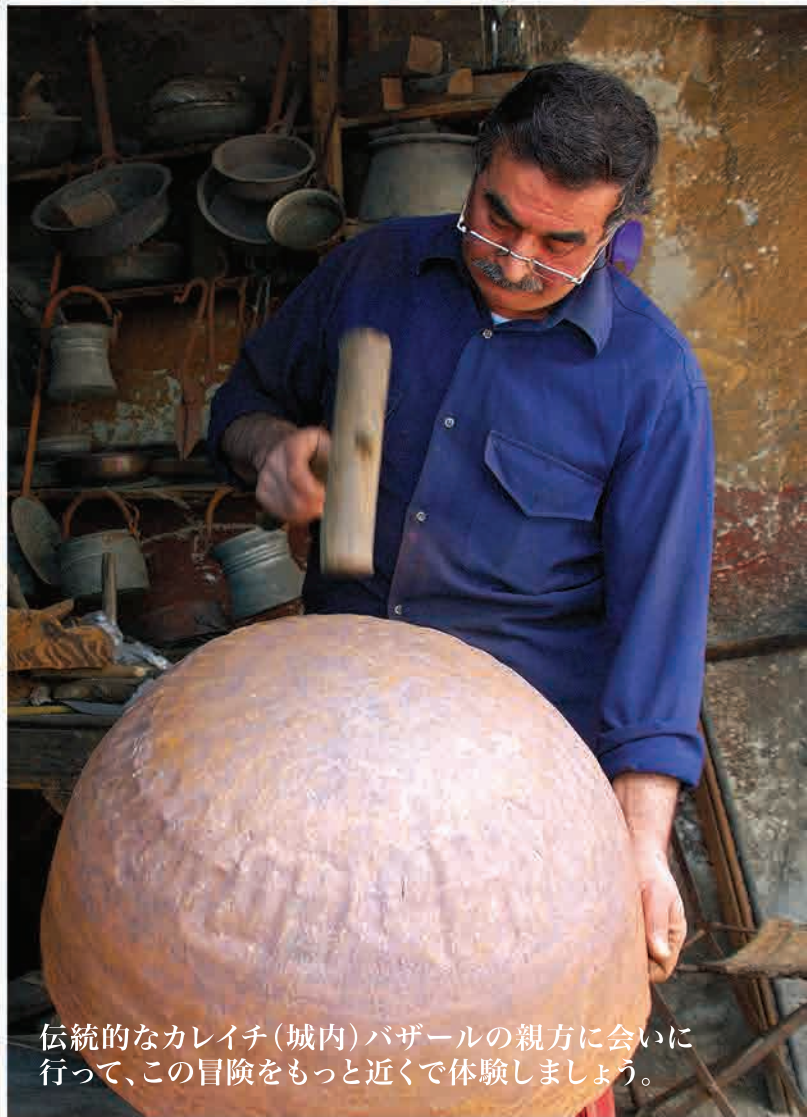
伝統的な城内マーケットの職人の巧みな手から、あなたご自宅へと受け渡される逸品。

キラキラと光る深紅色をした魅力的な金属である銅は、生活の一部をなしており、日用品から武器、ケーブルから装飾品まで、あらゆる用途で使用されています。

銅加工の職人は、まるで昔の友に会ったときのように熱心に語りかけ、そして加工と成形を行います。すぐれた能力を持つ職人により加工される銅は、さまざまな形へと変化しながらも、**機能的な製品や装飾品**にその姿を変えるのです。



銅のスズメッキ加工 / ウミット・オズギュル



伝統的なカレイチ(城内)バザールの親方に会いに行って、この冒険をもっと近くで体験しましょう。

銅の引き伸ばし加工/ウミット・オズギュル



アデルム・ジャヌテツ親方による銅装飾品加工 / 南エーゲ開発機構資料室

メフメト・エルマズ親方による銅を伸ばす作業 / 南エーゲ開発機構資料室



メフメト・エルマズ親方による銅を伸ばす作業 / 南エーゲ開発機構資料室

アデルム・ジャヌテツ親方による銅装飾品加工 / 南エーゲ開発機構資料室



アデルム・ジャヌテツ親方による銅装飾品加工 / 南エーゲ開発機構資料室



土から生まれたもうひとつの工芸 陶芸

職人の手の中で粘土がどのような冒険をするかを見たくはありませんか？どのようにしてその粘土から出来た陶芸品が一般の家庭に届くのかを知りたくはありませんか？

数世紀にもわたる文化の蓄積を反映する陶器、筒型茶碗、深鍋、平鍋。

赤土を巧みに捏ね上げることで形成される美しい手工芸品。

セリンヒサルのクズルヒサル山から採れる原料である土や粘土は、実際に陶芸の陶器や筒型茶碗に使われる前に、約6か月もの期間にわたり準備処理が行われます。

職人の感覚、経験、汗によって形成される粘土は、陶器、筒型茶碗、深鍋、平鍋へと姿を変えます。そして、太陽で乾燥されてから、火の踊るかまへと入ります。すると、鮮やかに装飾された陶芸品が、友としてあなたに会いに来るのです。

水を冷たいまま保つことのできる陶器で水を飲んでみてはいかがでしょうか？

数世紀にわたる歴史を持つ工芸品。 イエシルユワの靴づくり



最古の靴職人のひとり / イェシルユワ市資料室

トルコの大きな靴工場や、イタリアなどの42か国に製品を送るデニズリのもうひとつのビッグ・タウン、イェシルユワ

数世紀にわたり行われているイェシルユワの工芸、優れた職人芸と労力でつくられた手工芸品、革靴。

イェシルユワの靴づくりは、約850年以上にもわたり文化の蓄積の上に続けられており、現在でも重要な経済的活動として行なわれています。イェシルユワは以前から、靴づくりと革加工の重要な中心地となっています。

ですが、昔に手づくりされていた靴は、技術の発展により、今では機械作業となっています。靴づくり職人は現在、靴の特定の部分のみを手作りしています。とはいえ、完全に手作りの靴も要求に応じて職人の手でつくられています。



代々引き続いている靴職人 / イェシルユワ市資料室

4万㎡以上の面積を持つ施設には、7つのブロックそして1つのサービスビルを含まれ、254の店があり、世界の技術的發展の変化にあわせて、基準を満たした良好な靴づくりの維持が行われています。イエシルユワ靴職人の小規模産業地帯は現場の広さと仕事場の数という点において、トルコの他の郡や町にあるものと比べても、最大の産業地として注目を集めています。

この産業部門の隠れたヒロイン イエシルユワの女性たち

イエシルユワの女性たちは、よく働いて多くの製品を生み出しており、この産業部門において女性の力を示しています。女性たちは、夫への精神的な支援だけでなく、靴づくりの生産過程の最前線での努力でその力を見せています。



イエシルユワの女性靴職人 / イェシルユワ市資料室



靴職人 / イェシルユワ市資料室



イエシルユワでつくられた靴 / イェシルユワ市資料室

中央アジアからもたらされた伝統、革加工の技術

織物と同じくらい昔にさかのぼる歴史を持つ、デニズリにおけるもうひとつの根の深い工芸、**革加工**

この工芸は、中央アジアからトルコ部族によりもたらされ、1071年、トルコ人によるホナズ城の征服によって確立されました。

オスマン時代、この工芸は靴づくり、ブーツづくり、装丁、腕飾り、馬具類といった形式で行われていました。当時の引き具や荷鞍は、革や牛革でつくられていました。

革加工、牛革、その他の革製品の先駆的な都市のひとつとなったデニズリは、**牛革製造**でも注目を集めています。

この国の牛革の需要の大半は、革産業部門における最大手のデニズリが満たしています。



トンネル出口で染められる革製品 / デニズリ革製品特別産業組織地帯局

様々な地方の味と料理



伝統的にナイフやフォークなしで出されるデニズリケバブをぜひお試しください。

デニズリのケバブを準備する際には、まず子羊の胴体を2つに切りそれを8つに分け、ステンレス製の串を通し、慎重にオープンに移して調理します。調理された肉は、天秤で重さを測られます。ケバブの肉切れを、木板の上のピタブレッドにのせ、ナイフで切り、皿にのせて出します。

このおいしい料理は手で食べることも、お楽しみいただけます。これは昔の話に由来します。1920年代、初めてのデニズリケバブが料理人によって出されましたが、そのとき、手で食べるように出されたのです。それが伝統的なマナーとなったのです。

ユニークな味 デニズリケバブ

1920年代からその味で有名な子羊肉の料理、デニズリケバブを味わったことはありますか？

もうひとつの伝統的な味 乾燥ササゲのスープ

健康とグルメが好きな方へ

デニズリ料理は、主に野菜料理から成ります。エーゲ地方にあるこの美しい都市は、エーゲのキッチンから吹くそよ風が旅行者を迎えてくれます。健康的でおいしい料理には、オリーブオイルが欠かせません。

デニズリ料理のユニークな味のひとつ、乾燥ササゲのスープを味わってみてはいかがでしょうか？

この乾燥ササゲスープのつくり方は、まず、コップ1杯の乾燥ササゲをゆでて、水気を切ります。次に、フライパンに移し、コップ5杯分の水またはチキン・ブロスを加え、やわらかくなるまで調理します。そして、コーヒークップ1杯の米を洗い、水を切り、ササゲの入ったフライパンに加えます。

別に用意したフライパンに、大さじ1杯分のバターを熱し、大さじ1杯分のトマトペーストと塩を加えてソースをつくります。米に火が通ったら、ソースを以前のフライパンに加え、1〜2分間ほど煮詰めます。

熱々のまま出されるこのおいしいスープを、ぜひ味わいにいらしてください。



乾燥ササゲのスープ

もうひとつのごちそう チャプトアシュ

今度は、チャプトアシュはいかがでしょう？

コップ1杯のバルドー米を十分な水で洗い、15分間ほど冷たい水に浸しておきます。そして、30g のバターを溶かし、均等に火が通るように炒めます。

別に用意したフライパンで、100gの子羊の肉に適度な塩、クミン、黒こしょうを加えて炒めます。50ml のサワーグレープジュース、10～12mmの細切りにしたブドウの葉、コップ1.5杯分の厚いブロスを加えて煮詰めます。前に炒めた米にこれを加え、水分が吸収されるまで調理します。これで、チャプトアシュのできあがりです。熱いままお召し上がりください。

どうぞ召し上ってください



このレシピは、粉玄米を使ってもできます。この写真は、粉玄米を使ったチャプトアシュです。

忘れられないおいしい味を体験してみたいはいかがでしょうか？

乾燥ナスの肉詰めは、いくら食べても食べ足りないほどの美味です。



乾燥ナスの肉詰め / デニズリ行政区資料室

水を切った乾燥ナス6本をフライパンでゆでます。このとき、ナスが柔らかくなり過ぎないように注意し、柔らかくなったら、火を止めて冷まします。コップ1杯の米と、ボールに入れた乾燥ナスの果肉に熱湯と塩を加え水を吸わせます。500gのひき肉を大きめのフライパンに入れ、オリーブオイルで炒めます。お好みの量の塩、フレーク状の赤とうがらし、黒こしょう、乾燥ミント、細かく切ったパセリ、3つにスライスした乾燥オニオンを加えたら、これらすべてをよく炒めます。熱湯にひたしておいたナスをスプーンで潰し、水を切り、材料に加えます。炒める際に、コーヒースプーン1杯のペッパーペースト、大さじ2杯のトマトペーストを加えます。熱湯に浸した米の水を切り、材料に加えます。

乾いたピーマン2つを切って調理鍋にさらに加え、焼きます。ザクロシロップを加えた後、材料をよく混ぜ、調理鍋を切ります。乾燥ナスにこれらを詰め、指1本分以上のスペースを残し、そして、少し柔らかくなるまで別のフライパンでゆでたトマトと一緒に、慎重にソースパンへといれます。ナスをきれいに切ったソースパンに熱湯を入れ、フタをします。水が完全に吸収されるまで中火にかけます。料理として出す前に、オリーブオイル、大さじ1杯のトマトペースト、コーヒースプーン1杯のパウダー状の赤とうがらし、ひとかけらのニンニクでソースをつくりまします。

健康と美味のブレンド、デニズリ・デライト

デニズリを訪れる際に、ぜひお試しください味がもうひとつあります。

世界的にも有名なターキッシュ・デライトは、老化防止効果のある粒状のミラクル・グレープ・シード、天然のはちみつ、糖蜜をブレンドして作られる、おいしくてしかもより健康的な新しいお菓子です。

デニズリを訪れた際には、これをお試しになることをお忘れなく。



デニズリ・デライト / メフメト・オクティ

さて、あなたはデニズリにやってきました。そして、何を食べようか考えています。

ペパー・タタール、
エッグプラント・オニオン、
デニズリ・ケシュケック、
タワスのバクラワス、カレのダワツ、タワスの蜂蜜とターヒンのピタ、
その他多くのグルメを味わうのをお忘れなく。
どうぞ召し上ってください。



タワス・バクラワ



ペパー・タタール / デニズリ文化・観光地方総局資料室



エッグプラント・オニオン / デニズリ文化・観光地方総局資料室

文化・芸術活動

心の琴線に響くメロディーが聞こえる文化都市、生きた宝、世界的に有名なアーティストたち

デニズリ
はあなたを歓迎します。

デニズリ市芸術学校

芸術が歴史と出会う場所

デニズリ市芸術学校ビル / オカン・コチイット



デニズリ市芸術学校は、復旧された歴史的なキュラフチュオール小麦工場でレッスンをおこなっています。これは、国の重要なシンボルのひとつです。

数世紀の試練を耐え抜き依然として残っている伝統的な建造物であり、文化と歴史をたたえています。これは、デニズリの芸術がもつ価値の証拠となっています。

トルコの民謡、トルコの芸術音楽や子供たちの合唱は、芸術学校内の組織の活動により続けられており、コンサートや活動で、芸術愛好家を魅了することでしょう。

モダンダンス、リード、バイオリン、パーラマ、ギター、ピアノなどのコースも、この学校で提供されています。

デニズリ文化の象徴 民謡

オザイ・ギョリユム氏は、デニズリの民謡を通じて人々の心に語りかけます。彼は代々伝えられてきた文化の豊かさを伝えています。ギョリユム氏の特別な楽器ヤレンは、トルコの3種類の楽器を組み合わせたもので、デニズリの文化を象徴する芸術品のひとつです。

これらの民謡は、アジュパヤムからタワス、チャルからチブリル、ブルダンからギュネイ、ホナズからセリンヒサル、チャメレからカレ、サライキョイからバキリ、ババダーからアッキョイ、バイアーチからバクラン、チャルダクからボズクルトまで、この県の各地で歌われており、自然、歴史、建築、文化的要素が組み合わさって作られているものです。

伝統的な結婚式で、特に「ジェミレム」(伝統的なエーゲの女性の名前のひとつ)と呼ばれる民謡にあわせて踊ってみてください。そうすれば、きっとデニズリの民謡を存分に楽しめます。

デニズリ民謡の一覧

- **Cemile'min Geçtiği Yollar Meşeli** - アジュパヤムの町の民謡
- **Zobalarında Kuru da Meşe Yanıyor Efem** - タワスの町の民謡
- **Allı Mendilim** - ブルダンの町の民謡
- **Hele Bakın Şu Gül Yüzlü Güzele** - デニズリの民謡
- **Tellidir Yavrum Anam Tellidir (Asmam Çardakta)** - デニズリの民謡
- **Çatkemer** - の民謡 - タワスの町の民謡
- **Yaveş Yaveş Esen Seher Yeli Mi?** - デニズリの民謡
- **Gine Yeşillendi Acıpayam Yolları** - アジュパヤムの町の民謡
- **Gara Gabak Kökeni** - チブリル・チャバック村の民謡



- **Al Yazmamı Düreyim** - アジュパヤムの町の民謡
- **Mendil Verem mi?** - デニズリの民謡
- **Tenikeler Tıngıramasın** - チャメレ・ギョクチェヤカ 村の民謡
- **Salına Salına Girmiş Bahçaya** - サライキョイの町の民謡
- **Ak Çeşmem Akıp Durur** - ギュネイ・カラギョズラル 村の民謡
- **Denize Dalayım mı?** - ジャンクルタラン郡の民謡
- **İki Teşrisani Günün Ortası** - バキリの町の民謡
- **Tavas Zeybeği** - タワスの町の民謡

世界的にも有名なデニズリの画家 イブラヒム・チャルル

1882年、チャルの町で生まれたイブラヒム・チャルルは、デニズリ出身の最も重要な芸術家のひとりです。チャルル氏は、風景画、静物画、肖像画の作品を残しています。チャルル氏は優れた芸術家というだけでなく、有名画家たちを教えており、彼らの教育にも大きく貢献しました。彼の生徒の中には、シェレフ・アクディク、サイム・オゼレン、エリフ・ナージ、マフムト・ジュダムヒッティン・セバーティ、アリ・アブニ・チェレビ、ゼキ・コジャメミ、ベドレ・ラフミ・エユップオールがいます。

1914年世代の画家は、デニズリで生まれた有名画家にちなんでチャルル・ジェネレーションと呼ばれています。チャルルは並ぶものがない高雅な作品を残し、1960年イスタンブルでその生涯を終えました。



イブラヒム・チャルルの作品の一例



文化遺産 偉大なる師、ハイリ・デベ

羊飼いであり、音楽家であり、文化の分野における伝説的な人物であるハイリ・デベは、1933年、冷たい水と天候で有名なデニズリのチャメレの町で生まれました。音楽をなにより愛する人物でした。

デベ氏は、その愛用の三本の弦をもつ楽器と松の笛により、ユネスコの人間国宝リストに載っています。この文化国宝は、パリ大学の音楽学者ジェロンクレアが、1992年に訪れてからというもの、世界的に有名となりました。クレア氏は、トルコ楽器バーラマの魅力的な音を聴きにトルコを訪れた際に、この偉大なる師に出会いました。

ハイリ・デベの人生は、地域の芸術に捧げられたもので、ドキュメンタリー「森の影で」のテーマとなりました。この偉大な師は、何度もフランスへ招待され、さまざまなコンサートを行いました。一方、音楽を愛し、フランスからはるばるチャメレへやって来たこのフランス人は、デベ氏のレッスンを受けました。さまざまな工芸の才能を持ち、それが偉大な師と呼ばれる理由でもありましたが、それにもかかわらず、ハイリ・デベ氏は、生涯を音楽家そして羊飼いとて過ごしました。この文化を守るために、デニズリ市芸術学校の教授は、この偉大な師から教を受けています。

ハイリ・デベ / デニズリ文化・観光地方総局資料室



サラハッディン・ブナル

魂の活力源 サラハッディン・ブナル

Bir bahar akşamı rastladım size...

(ある春の晩私は偶然あなたを見かけた)

Nereden sevdim o zalim kadını....

(わたしはどれだけあの残酷な女性を愛したことか)

Bakışı çağırır beni uzaktan...

(彼女のあのわずかな一瞥が遠くから私を呼んでいる)

Kalmadı bende ne arzu ne gönül...

(欲望も愛も私の心には残されていない)

これらの曲は、トルコの古典音楽の中でも最もエレガントな作品であり、いつまでも心に残ることでしょう。これらの曲が優しく語りかけてはきませんか？これらの素敵な曲を聴けば、どのような心も魅了されることでしょう。

これらの美しい曲の作曲者であり、リュート・タンブーラ奏者、サラハッディン・ブナルもまた、デニズリの文化遺産です。

サラハッディン・ブナルは1902年チャルで生まれ、多くのトルコの古典音楽を作曲し、また多くのポピュラー音楽を残しています。ブナル氏は、常に聴き手に喜びを与える壮大な文化的作品を残して1960年にイスタンブールでその生涯を終えました。

トルコ劇場の第一人者のひとり テキン・アクマンソイ

テキン・アクマンソイは劇場・映画スターで、デニズリの重要な文化的な宝のひとりです。カイセリの登場人物であるヌル・ガンタルを演じてから、トルコ国民に愛されるようになりましたが、その人物を有名なテレビシリーズで長年にわたり演じ、役者自身がカイセリ出身であるかのように思われるほどの成功をおさめました。

この人物は、1998年、トルコの演劇界の忘れがたい宝のひとつとして、国を代表する芸術家の称号を与えられました。また、口承文芸の伝統を支援している人物でもあります。1924年サライキョイで生まれ、2013年にその生涯を終えました。この偉大な師は、自らがディレクターを務め、俳優を務めたテレビシリーズや映画など多くの重要な作品を残しました。



この都市でなくてはならない祭りやイベント

お祭りからコンサート、展覧会から祝祭まで、文化的な活動のゆりかご
であるエレガントなデニズリ

4日間にも及ぶ毎年恒例の祝宴、200万人以上もの人々が訪れる、**国際ブルダン織物・文化・手工芸品祭り**。

赤・緑・白のトラバーチン上を流れる癒し効果のあるレッド・ウォーターを見に訪問客が集まる祭り、**国際カラハユット赤湯文化・観光祭り**。

28年にもわたりデニズリ市により開催されている祝宴、**国際アマチュア劇場祭り**。

トルコ初の「ガラス祭り」、デニズリ市ガラス祭り。

労働と文化の蓄積が混じりあうイエニジェケント・トリボリス・文化とぶどう祭り。

2009年に初めて開催された、国際トルコ映像・音楽祭。

文化の豊かさを祝う、**国際フォークダンス祭り**。

ボズクルトの乾燥豆とピラフが巨大なテーブルに出され、帝王の王冠と皇帝の王冠が展示される、**ボズクルト・ハイレチン村・王冠と帝国の高原祭り**。

過去からの文化の蓄積を紹介する、**ベイアーチの伝統エレンの祭日、カルタル湖ユルク祭り**。

奥深い文化の蓄積と経済を合わせた、**アジュパヤム経済・文化祭り**。

トルコのヒヨコ豆生産の80%を占める煎りひよこ豆の中心地のひとつ、セリンヒサルセリンヒサルの労働と文化の蓄積をあわせた、**セリンヒサル・煎りひよこ豆と文化の祭り**。

農産品と文化の組み合わせ、リンゴ生産の中心地チブリルの**チブリル・文化とリンゴの祭り**。

おいしくて有名なホナズのチェリーのための、**チェリー祭り**。

生産品と祖先のスポーツを組み合わせた祝宴、**古城ダバツ・オイルレスリングと胡椒の祭り**。

トルコのヒヨコ豆生産の80%を占める煎りひよこ豆の中心地のひとつ、クズルジャの労働と文化の蓄積をあわせた、**クズルジャ・煎りひよこ豆文化祭り**。

織物で有名なデニズリの城郭都市のひとつ、ババダーの、**伝統的織物・観光・文化・芸術祭りとペーサー競馬**。

自然の目覚めと新しい生命のエネルギーをもたらす春を迎える祝宴、**ボズクルト/オバチェシメ 春祭り**、

ブルダン・スレイマンル郡雪まつり。

タワス文化・生産品・バーパザルの祭り。

ヤターンナイフ・カフェ高原祭り。

ハリウッド映画が使用した伝統的な織物製品の地、クズルジャブルクの**伝統文化・芸術・織物・ファッション祭り**。

ババダー伝統競馬。

バカラン伝統競馬。

ユムルタシ伝統競馬。

デニズリ市・詩人の祝日。



ガラス祭り / デニズリ市資料室



詩人の祝日 / デニズリ市資料室



カラチョブレ高原ケシュケックの祭り / パンバダー市資料室



民族舞踊祭り / デニズリ市資料室



民族舞踊祭り / デニズリ市資料室



劇場祭り / デニズリ市



トルコ映像・音楽祭 / デニズリ市資料室



トルコ映像・音楽祭 - ヒエラポリス古代劇場/デニズリ市資料室



ブルダン織物・文化・手工芸品祭り / ブルダン市資料室



セリンヒサル祭り / デニズリ市



チャル・羊跳躍祭り / ナディル・アイラル



ヤターンナイフ・カフェ高原祭り / デニズリ県文化・観光局



クズルジャブルク伝統文化・芸術・織物・ファッション祭り / クズルジャブルク市資料室

姉妹都市

- ・アルメロ/オランダ ・ベッツドルフ/ドイツ ・ブラリア/ルーマニア ・ウッチ/ポーランド
- ・ジアソウザ/中国 ・ラリサ/ギリシャ ・ムアン/韓国 ・マリヒョウ/ベラルーシ ・パヴロダル/カザフスタン
- ・カズヴィーン/イラン ・サラエヴォ/ボスニア・ヘルツェゴビナ ・サマーラ/ロシア ・トビリシ/グルジア ・アマスヤ/トルコ
- ・ブルサ/トルコ ・トカット/トルコ ・ムシュ/トルコ ・ビレジク/トルコ



ハリウッドに愛されるデニズリ。みなさんはどうでしょうか？

ブラッド・ピットが戦士アキレウスを演じた映画「トロイ」で使われた衣装は、デニズリの、織物で有名なクズルジャブルクの町でつくられました。

衣装や織物を準備するのに4か月かかりました。トロイの発掘中に見つけられる壺のデザインは、主に織物の模様で使用されているもので、またマントは7つの層で織られた生地を使用したものでした。織物の中には糸くずを取り除くよう求められたものもあり、その模様は地元の製造業者によりつくられました。3000年前に使われていた織物に似せた一万メートルものマントの生地は、80人で20日かけて織られました。



ニコラス・ケイジ / ゴーストライダー2

ゴーストライダー1と同じくニコラス・ケイジが再び主演した第2弾、ゴーストライダー2の最後のシーンには、パムッカレの古代都市ヒエラポリスで撮影されました。



パイレーツ・オブ・カリビアン

その他壮大なハリウッド映画

- ・パイレーツ・オブ・カリビアン
- ・バットマン
- ・ラストサムライ

これらで使われた衣装はすべて、デニズリでつくられたのです。



トロイのワンシーン

ボリウッドにも愛されるデニズリ。みなさんはどうでしょうか？



コットン・ホワイト・トラバーチンがある、世界でもユニークな自然の不思議パムッカレは、インド映画やビデオクリップ製作者にも好まれています。

インドのプロデューサーにより撮影された映画やビデオクリップは、インドで非常に人気があります。この世界で最も人口密度の高い国は、パムッカレに強い興味を示しているのです。



パムッカレで映画撮影を行うインドの映画スター / デニズリ地方特別管理局資料室



多くの映画、テレビシリーズや番組に使われる衣装は、デニズリのブルダンやクズルジャブルクの町でもつくられています。



1453の征服

「ファティーフ1453」の写真の衣装は、ファティーフ・スルタン・メフメトのイスタンブル征服のストーリーを物語っています。これは、新しい時代を切り開く出来事でした。この衣装も、ブルダンやクズルジャブルクでつくられました。

これらの衣装は、オスマン帝国時代で最も鮮やかな色のモチーフで飾り付けられ、ブルダンのシルク、ブルダンのシワ加工の布、ベルベット、サテン、タフタ、絹、ダスターでつくられています。これらは、コルドネ、レース、スゼニ（輪状加工）やレリーフ技術を使った工業機器による刺しゅうが施されています。また、スパンコールやビーズも刺しゅうに使われています。

偉大なる世紀シリーズ

このテレビシリーズはトルコだけでなく、多くの国で放送されており、スレイマン大帝、つまりオスマン帝国に名を残した勇者の物語を伝えます。このシリーズでナイトガウンや腰布として使用された製品も、ブルダンでつくられました。

昔むかしのオスマン帝国

オスマン時代の物語を伝える、トルコ最大の予算を使って撮影されたシリーズです。このテレビシリーズで使用された織物も、織物の名産地、デニズリでつくられています。

デンマーク王立オーケストラ

イズミル県オペラ・バレエ



パムッカレ古代のプールファッションショー / デニズリ県特別管理局資料室



ファッションショーに欠かせないセット、 パムッカレ

雲の中を歩いているかのような気持ちにさせるパムッカレは、ファッション映画やファッションショーにとって最高の環境も提供しています。

パムッカレの美しさが、世界的に有名な美と出会うのです。

世界のファッションの巨匠は、デザインの迫真性とユニークな景観の組み合わせを求めてパムッカレを選んでいきます。

まるで雪で覆われているかのような白の世界で撮影されたビキニや水着は、その迫真性から唯一無二のショットをつくり出します。

モデルがトラバーチンや古代プールをまるで白鳥のように舞えば、すばらしい写真が撮れます。





休暇の予定にデニズリを加えてみてはいかがでしょうか？

自然、歴史、文化の宝。

数多くの文明を擁することによって生まれた、またとない古代都市。

世界でもユニークな町、ユネスコ世界遺産リストに登録されているパムッカレ。

最初のキリスト教徒が住んでいた聖書にも登場する場所。

古代にまでさかのぼる織物文化が、今でも地元で伝統的な織機を使用して維持されている様子を見ることがのできる本物の場所。

自分自身や愛する人にプレゼントする手作りのお土産、文化の蓄積と豊かさを表し、多くの有名人や貴族に親しまれている、織物、刺しゅう、タオル、バスローブなど。

自然ツーリズムの可能性を持つ峡谷、山、洞窟。

多くの鳥を見ることができ、生物の多様性が私たちを魅了する、自然が都市へ贈った場所。

自宅の一角を素敵に飾る、火と土の愛から生まれた製品、チェシュミ・ビュルビュル（ナイチンゲールの眼）とベイコーズ・ガラス。

時間が止まっているかのように感じられる場所。

まだまだ他にもたくさんあります



デニズリに投資をしてみてもいいかな？

166か国へ輸出を行い、多くの部門において成功を収めている都市
に投資をしてみませんか？

自然、歴史、文化の宝。

交通手段・交通施設。

場所。

生物的多様性・気候。

優れた産業インフラ。

壮大な商業経験。

企業家精神のポテンシャル。

長い歴史を持つ織物文化。

輸出の可能性。

豊作をもたらす農場や農産品。

最適な農業方法の可能性、海外市場への開放性。

ますます進むエネルギー部門への大きな投資。

地熱エネルギーや地熱温室の可能性。

地下の財宝。

信仰、文化、温泉、植物、自然ツーリズムの可能性。

競争力とブランド力。

デニズリで投資可能な分野

繊維・織物・ケーブル部門・大理石およびトラバーチン関係の業務

有機農業および地熱温室栽培・水耕農業・ガラス産業・温泉観光

信仰・文化・自然ツーリズム・機械産業・革加工・農業を基盤とする産業

デニズリ.... デニズリ.... デニズリ

- 聖書に記されている7つの教会のひとつは、デニズリの古代都市ラオディケイアにあります。
- 聖書に登場するイエスの十二使徒のひとつ、聖ピリポの墓は、ヒエラポリスにあります。



古代都市ヒエラポリスの聖ピリポの墓 / デニズリ文化・観光地方総局資料室

- ヒエラポリスの殉教の丘の上にある教会は、聖ピリポの名のものにつくられました。聖ピリポは殉教者として考えられており、この教会は殉教者廟と呼ばれています。考古学者たちは、これを手がかりに、聖ピリポの墓が殉教者廟の教会にあると考え、長年にわたり発掘作業をおこなってきました。実際、この墓は2011年に発見されました。聖ピリポの墓は、ビザンチン時代の5世紀に、彼の名の下に建築された教会からこの墓へと移されました。
- 聖書にはコロサイ人へ宛てた5つの手紙があります。コロサイ人は、古代都市ラオディケイアとヒエラポリスを生きた最初のキリスト教徒たちです。



ラオディケイア / オカン・コナイット



クズルジャブルク市資料室

- トルコから輸出されている80%のタオルやバスローブは、実は、織物の先進都市デニズリで製造・輸出されています。
- 2011年4月29日、ウィリアム王子とキャサリン・ミドルトンの夢のような結婚式の招待客用の品、4万枚の刺しゅう入りタオルが、デニズリで生産され、イギリスへと輸送されました。
- 国際的な有名人のブラッド・ピット主演の映画「トロイ」で使用された衣装は、デニズリのクズルジャブルクの町でつくられました。
- デニズリは、トルコのトラバーチン埋蔵量の40%を擁しています。トルコのトラバーチンは、世界のトラバーチン埋蔵量の60%ほどを占めています。
- デニズリのトラバーチン埋蔵量の90%は、ホナズ・バルック渓谷トラバーチン盆地にあります。

- デニズリのトラバーチンは、2012年、地理マーク登録証明書に登録されました。
- おける合計大理石埋蔵量では、アフィヨンとバルケシルに続き第3位となっています。
- デニズリの、サライキョイ、クズルデレ、テッケハマン、ババジユク、ブルダン、ブルメカヤ、イエニジェント、アツキョイ - ギョレメズリ、カラハユット- パムツカレおよびチャルダク地方は、温泉のあるエリアとなっています。
- トルコの最も重要なマンガン鉱床はデニズリにあります。デニズリのカレとタワスの町のマンガンは、トルコの合計埋蔵量約450万トンのうち、400万トンほどを占めています。
- 多くの病に効果があるといわれているタイムですが、トルコのタイム生産の90%は、デニズリで行われています。



- デニズリの煎りひよこ豆は、トルコの合計生産量の80%を占め、地理マーケティング登録証明書を獲得しています。
- トルコ初の煎りひよこ豆産業は、セリンヒサルに確立されました。



- 96種類の農産物が、デニズリから62か国へ輸出されています。主なものは、テーブルグレープやザクロ、マルメロ、リンゴ、チェリーなどの生鮮食品、煎りひよこ豆、タイム、ひまわりの種、八角、クミン、ハシシュ、レーズンなどの乾燥食品です。
- ホオズキは神話のフルーツといわれています。数世紀にわたり、インカ族により治療のために使われてきました。このホオズキを最もトルコで生産している場所は、デニズリのチャメレです。



- デニズリは、最も多くヒジャス ザクロ生産を行う都市のひとつです。ザクロは赤い皮、暗褐色の種、酸っぱい味をもち、食品、飲料、医療品産業に使用されています
- デニズリはエーゲ、地中海、中央アナトリア地方が交わる特別な場所に位置しています。このデニズリには、多くの湖や湿地帯があります。ここは鳥の楽園でもあり、時として、トルコを中継地とする鳥464種類のうち、250種類ほどもとどまることがあり、渡り鳥の移動ルートの途上にある唯一の地方です。
- ホナズ山は、エーゲ地方で最も高いポイントです。また、第1回ワールド・エア・オリンピックで、ハングライダーやパラグライダーの競技が行われた場所でもあります。



- ユヴェントス、ミラン、インテルなど、世界的に有名なフットボールクラブに所属するスタープレイヤーのタオルやバスローブは、デニズリでつくられています。

ご理解いただけましたか？

自然の歴史、価値ある文化、そして伝
統ある習慣のある街へのショートト
リップはいかがでしょう？

デニズリ





- Çameli = チャメリ
- Beyavaş = ベヤーチ
- Acipayam = アジパヤム
- Kale = カレ
- Serinhisar = セリンヒサル
- Tavas = タバス
- Kızılçaböyük = クズルジャボリユック
- Babadağ = ババダー
- Merkezefendi = メルケゼフエンデイ
- Honaz = ホナズ
- Bozkurt = ボズクルト
- Çardak = チャルダック
- Sarayköy = サライキョイ
- Buldan = ブルダン
- Pamukkale = パムツカレ
- Güney = ギュネイ
- Çal = チャル
- Bekilli = ベキッリ
- Çivril = チブリル
- Baklan = バクラン

- Işıklı Gölü = ウシクル ギョル
- Acı Göl = アジ ギョル

写真参考文献

本書の写真は、次の関係者各位のご厚意により使わせていただきました。

デニズリ行政区資料室。

(行政区の報道機関や広報局、ソネル・カラバシュ氏からの写真の提供に深く感謝いたします。)

デニズリ県特別管理局(パムッカレ・遺跡・文化・観光・管理総局) 写真資料室。

(パムッカレ管理総局およびラフェット・フェリット・カザン氏からの写真の提供に深く感謝いたします。パムッカレおよびヒエラポリスの写真は、尊敬すべき写真家のメフメト・チャクル氏により撮影されました。また、写真を提供してくださったラフェット・フェリット・カザン氏にも深く感謝いたします。)

デニズリ県文化・観光総局の写真資料室。

州編集者メフメット コルクマズさんの写真やデニズリの観光地図、それからIT部門のアジズ ネビ チャヴンヨールさんに感謝します。州編集者のウェブサイトは現地の食事の写真に使用されています。

デニズリ県食品、農業、家畜総局の写真資料室。

(県総局による写真の提供に深く感謝いたします。)

デニズリ市資料室。

(市長執務室による写真の提供に深く感謝いたします。)

ババダー市資料室。

(市長執務室および会計総局のアリ・ギュルアーチ氏による写真の提供に深く感謝いたします。)

ボズクルト市資料室。

(市長執務室および フンダ・ジェンギズ氏、ミュニユル・エンバタン氏、レフコ・フォト社による写真の提供に深く感謝いたします。)

ブルダン市資料室。

(市長執務室による写真の提供に深く感謝いたします。)

チャル市資料室。

(市長執務室および実行理事会による写真の提供に深く感謝いたします。)

チブリ市資料室。

(市長執務室および報道機関・広報活動ユニットのハカン・ケイサン氏による写真の提供に深く感謝いたします。市町村の写真は、尊敬すべき写真家のタイヤル・カラブルト氏によって撮影されました。)

セリンヒサル市資料室。

(市長執務室および報道機関・広報活動ユニットのギョネンチ・チェティンバイ氏による写真の提供に深く感謝いたします。)

クズルジャブルク市資料室。

(市長執務室による写真の提供に深く感謝いたします。市町村の名において撮られた写真は、尊敬すべきゼキ・アカクチャ氏により撮影されました。)

イエシルユワ市資料室。

(市長および理事のギュライ・ジフトチ氏による写真の提供に深く感謝いたします。)

デニズリ特別産業組織地帯総局の写真資料室。

(革製品特別産業組織地帯のメフメト・ギュラン代表およびムフテシム・サナル監督による写真の提供に深く感謝いたします。)

南エーゲ開発機関の写真資料室。

(写真はこの資料の目的範囲内で、デニズリYDOコーディネーター、アイシェ・エスイン・バシュカン氏により撮影されました。)

デニズリ写真家協会の尊敬すべき写真家、ウミット・オズギュル氏、オカン・コチイット氏、ニザミ・チュブック氏、ナディル・アイラル氏およびアッティラ・アウルバシュ氏。

ウフク・ソイハン氏。

メフメト・オクティ氏。

自然・文化旅行の写真は、トルガ・サルソイ氏から提供いただきました。

本書に含まれているその他の写真は、チャーアジャンと増加マックス資料室から提供されました。

本書に写真を提供し、デニズリのプロモーションを熱心に行ってくださった事に関して、
まずはデニズリ行政地区に、そして関連企業・機関、有名フォトグラファー、ジャーナリス
ト、親友たちに感謝を申し上げます。



上述の写真により、本書をデザインするにあたり、デニズリの視覚的な豊かさや活気を
表現することができました。

参考文献

デニズリ行政地区「デニズリの歴史」。

http://www.denizli.gov.tr/index.php?option=com_content&view=article&id=116&Itemid=69 (2013年11月7日)

デニズリ行政地区「デニズリの総合情報」<http://www.denizli.gov.tr/denizli/genelbilgiler.htm> (2011年6月21日)

ウィキペディアフリー百科事典「デニズリ (県)」[http://tr.wikipedia.org/wiki/Denizli_\(il\)](http://tr.wikipedia.org/wiki/Denizli_(il)) (2012年7月9日)

デニズリ県特別管理局パムッカレ運営理事会、パムッカレ、デニズリ、<http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=denizli> (2012年7月9日)

考古学ニュース「1600年前の織物が古代として発見される」(2011年6月9日)

<http://arkeolojihaber.net/2011/06/09/antik-kentte-1600-yillik-kumas-ulundu/> (2012年2月22日)

Arkitera.com「デニズリで経済生活が始まったのは7500年前」(2011年2月18日)

<http://v3.arkitera.com/h61012-denizlide-ekonomik-hayat-7-bin-500-yil-once-baslamis.html> (2012年2月23日)

デニズリ文化・観光地方総局「デニズリの雄鶏」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=560> (2012年7月3日)

デニズリ市「デニズリ雄鶏のファンタスティック・オープニング」(2013年8月21日)

<http://www.denizli.bel.tr/Default.aspx?k=haber-detay&id=13648> (2013年11月11日)

ラジカル「古代に音を響かせるために使われたもの」(2009年7月5日)

<http://www.radikal.com.tr/Radikal.aspx?aType=RadikalDetayV3&Date=&ArticleID=943617> (2012年5月16日)

pamukkale.gen.tr「伝説、パムッカレの伝説」<http://www.pamukkale.gen.tr/HtmlView.aspx?name=efsaneler> (2012年2月22日)

パムッカレ「聖ピリポ殉教者廟」http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=st_philippe (2012年2月22日)

フリエット「聖フィリップの墓がデニズリで発掘される」(2011年7月26日) <http://www.hurriyet.com.tr/gundem/18344097.asp> (2012年2月22日)

パムッカレ「浴槽」<http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=hamamlar> (2012年2月22日)

パムッカレ「古代のプール」http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=antik_havuz (2012年2月23日)

パムッカレ「墓地遺跡」<http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=nekropoller> (2012年2月23日)

パムッカレ「アポロ神殿」http://www.pamukkale.org.tr/tr/default.asp?sayfa=apollon_tapinagi (2012年2月23日)

Denizlihaber.com、「デニズリにてトルコ最古の古代劇場の舞台が修復中」(2011年7月21日) 2012年3月2日、

<http://www.denizlihaber.com/turizm/oren-yerleri/turkiyede-sahne-binasi-restore-edilen-ilk-antik-tiyatro-denizlide-olacak/> (2012年3月2日)

温泉ガイド「カラハユット温泉」<http://www.kaplicarehberi.com/karahayit-kaplicalari> (2012年5月31日)

エゲヨン「カラハユット・レッド・ウォーターの癒し」(2011年6月24日)

<http://www.egeyondergisi.com/?haberid=6562&kategoriid=&page=haberdetay#> (2012年5月31日)

GeziRehber.org「カラハユット・レッド・ウォーターの癒し」<http://www.gezirehber.org/kirmizisu-karahayit-sifa-dagitiyor.html>
(2012年5月30日)

Denizlihaber.com「ラオディケイアで古代最大の聖なる広場発掘される」(2012年4月6日)

<http://www.denizlihaber.com/turizm/turizm-genel/laodikyada-antik-donemin-en-buyuk-kutsal-alani-ortaya-cikti/> (2012年4月11日)

イエニアスル「ラオディケイアのローマ皇帝の頭の像」(2009年9月2日)

http://www.yeniasir.com.tr/HayatinIcinden/2009/09/03/romali_buyuk_imparatorun_heykel_basi_laodikyada (2012年7月5日)

Denizlihaber.com「ラオディケイアで大理石の作業場が発見される」(2012年4月28日)

<http://www.denizlihaber.com/turizm/turizm-genel/laodikyada-mermer-atolyesi-bulundu/> (2012年5月18日)

デニズリギュンジェル「私たちの大理石産業は長い歴史を持つ」(2012年4月29日)

http://www.denizliguncel.com/mermerciligimiz-de-cok-eskiymis_4884.html (2012年5月18日)

Denizlihaber.com「ラオディケイアでアテナ神殿が発見される」(2012年6月12日)

<http://www.denizlihaber.com/turizm/oren-yerleri/laodikyada-athena-tapinagi-bulundu/> (2012年7月6日)

Turizmhahercisi.com「ラオディケイアで7教会のひとつが発見される」(2011年1月31日)

<http://www.turizmhahercisi.com/7-kiliseden-biri-laodikya%e2%80%99da-bulundu.html> (2012年7月6日)

デニズリ・デイリー「アナトリアの植物チューリップ」6ページ、(2012年7月2日)

トリポリス・トリポリス発掘ホームページ「トリポリス古代都市の場所」<http://tripoliskazisi.com/konum.html> (2012年5月17日)

トリポリス・トリポリス発掘ホームページ「町の歴史」<http://tripoliskazisi.com/tarihce.html> (2012年5月17日)

ウィキペディアフリー百科事典「トリポリス (トルコ)」 [http://tr.wikipedia.org/wiki/Tripolis_\(T%C3%BCrkiye\)](http://tr.wikipedia.org/wiki/Tripolis_(T%C3%BCrkiye)) (2012年5月17日)

デニズリ文化・観光地方総局「コロサイ古代都市」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=560> (2012年5月24日)

ケントハベル「コロサイ」<http://www.kenthaber.com/ege/denizli/honaz/Rehber/antik-kentler/colossae> (2012年5月24日)

デハ20「コロサイの聖書名」(2011年7月15日) <http://www.deha20.com/kultur-sanat/colosseanin-adi-incilde-geciyor.htm>
(2012年5月24日)

ホナズ市「聖パウロのコロサイ」<http://www.honaz.gov.tr/Templates/scol.html> (2012年5月24日)

コチュエム チャクル エム、「チブリル ボルゲ エコノミシ ヴェ ソシヤル ヤプス」、デニズリ商工会、隔月ニュース金融調査・分析ジャーナル、2006年第64号 (2010年11月)

デニズリ文化・観光地方総局「古代都市、
エウマニア古代都市」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=589> (2012年5月28日)

ヒサルキョイ「アッチュダ」<http://attudahisar.org/hisar.htm> (2012年7月12日)

ヒサルキョイルレリヤルデウムラシュマヴェチェルレギュゼツレシュティルメATTUDA1998ジェネラルヒストリー
<http://www.attudahisar.org/page/show/27-genel-tarihce-.html> (2012年9月10日)

デニズリ文化・観光地方総局「古代都市、アッチュダ古代都市」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=595> (2012年5月28日)

Pamukkale.gen.tr「史跡」http://www.pamukkale.gen.tr/HtmlView.aspx?name=tarihi_yerler (2012年7月12日)

Denizli20.net「タバエ古代都市で新たな発見」(2011年7月25日)
<http://www.denizli20.net/haber/6163-tabae-antik-kentinde-yeni-buluntular.html> (2012年5月29日)

カレ市「タバエ古代都市」http://www.kale.bel.tr/42/4/sayfa/Tabae_Antik_Kent.html (2012年5月29日)

Haberler.com「デニズリのカレダワツ シンポジウム」
<http://www.haberler.com/denizli-de-kaledavaz-sempozyumu-3502825-haberi/> (2011年4月11日)

クズルジャブルク市「ヘラクレイア・サルバケ・ヒエロン」<http://www.kizilcaboluk.bel.tr/turizm-yerleri.html> (2012年5月29日)

pamukkale.gen.tr「信仰ツーリズム」http://www.pamukkale.gen.tr/HtmlView.aspx?name=inanc_turizmi (2012年5月29日)

Denizlihaber.com「国立公園ビジターセンター、ホナズの歴史・文化を維持」(2011年6月22日)
<http://www.denizlihaber.com/turizm/turizm-genel/honaz-tarihi-ve-kulturunu-milli-park-ziyaretci-merkezinde-yasatiyor/>
(2012年7月3日)

デニズリマンセット「ホナズ山国立公園プロモーションセンター、ビジターを待つ」(2012年2月23日)
<http://www.denizlimanset.com/kultur/honaz-dagi-milli-parki-tanitim-merkezi-ziyaretcilerini-bekliyor-h536.html>
(2012年7月3日)

トルコ共和国ホナズ市「アナトリア ライオンが最後に見られた地、国立公園」<http://www.honaz.gov.tr/Templates/smil.html>
(2012年6月4日)

トルコ共和国ホナズ市、「チェリーの町ホナズ」<http://www.honaz.gov.tr/Templates/skir.html> (2012年6月4日)
トルコ共和国ホナズ市「トラバーチンの町ホナズ」<http://www.honaz.gov.tr/Templates/stra.html> (2012年6月4日)

デンハブク、写真資料室「パラグライディング」<http://www.denhavk.org/> (2012年5月16日)

DenizliHaber.com「ユネスコに指定されたサンディラスの記念碑の木」(2012年1月20日)
<http://www.denizlihaber.com/turizm/turizm-genel/sandirasin-anit-agaclari-unesco-adayi/> (2012年6月22日)

テュルクア「マスター・オブ・スノー：カルジャ山」デニズリ・ハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、35-39ページ、デニズリ、2011年

ハベルデニズリ「ユネスコに指定された100年前のクロマツの木」(2012年1月14日)

<http://www.haberdemizli.com/guncel/asirlik-karacam-ormani-unescoya-aday-h2919.html> (2012年6月22日)

アカクチャゼ「数千年の証人：記念碑の木」デニズリ・ハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、p.24-29、デニズリ、2011年

デニズリギュンジェリ「チェキュドによるベヤーチの発見」(2012年7月8日)

http://www.denizliguncel.com/cekud-un-beyagac-kesfi_5426.html (2012年7月12日)

エレンの祭日、トルコ共和国デニズリ行政地区、「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」2008年、12ページ

デニズリ市「チャムルク公園」<http://www.denizli.bel.tr/Default.aspx?k=haber-detay&id=10819> (2012年7月12日)

「輸出都市デニズリ」トルコ共和国デニズリ行政地区、デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン、第5号、32ページ

デニズリ商工会「2011年のデニズリの経済面」DTO出版38、デニズリ

バシュカンアーエー「私はデニズリ・煎りひよこ豆(詩)」(2012年3月)

Denizlihaber.com「デニズリ地方の煎りひよこ豆」(2011年12月25日)

<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/tarim-ve-hayvancilik/ulkenin-leblebisi-denizliden/> (2012年7月5日)

ポラトセーカールグギュネイイー「ギュミュシュス(ホマ) 滝 (チブリル-デニズリ)」セルジュク大学社会科学
マガジン、第27号、2012年、203-204ページ

デニズリ文化・観光地方総局「観光旅行の種類、エコツーリズム、滝」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=656>
(2012年6月21日)

チュブク ネー「オルダ ビル キョイ ヴァル ウザクタ ベキリニン メデレ キョユンデ ヤシャヤン タリヒサル ヴェ キュルト
レル ミラス」デギアド、第41号、50-52ページ (2006年11月)

「ラフティングができるトルコの河川ベスト10」(2004年6月11日) <http://arama.hurriyet.com.tr/arsivnews.aspx?id=232603>
2012年9月11日)

バキリでのラフティング、トルコ共和国デニズリ行政地区「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」、第3号、22ページ

オズアルトゥン、「マンクルン クスク キャニオン：激しい水流の中のダンスの名」デニズリ・ハヤット、デニズリ市、生活・都市文化マガジン、
46-51ページ、デニズリ (2010年)

「アクダー トカル キャニオン」<http://sandikli.biz/sandikli-haberleri/3.html> (2012年7月19日)

アカクチャゼデニズリ・ハヤット「 チョケレズ ダーヌン アルドユンダ タシュラルン ディリーレ ビル キョイ チャルチャクルラル」デ
ニズリ市、生活・都市文化マガジン、デニズリ(2011年)36-41ページ

「ボズダーと冬の観光旅行」トルコ共和国デニズリ行政地区、デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン、第9号、28-33ページ

ヤターン市「カフェ高原」<http://www.yatagan.bel.tr/kefeyaylasi.htm> (2012年9月10日)

Denizli.org「観光地、ケルオーラン・ドドウルガラル洞窟」<http://www.denizli.org/dodurgalar-magarasi.php> (2012年6月25日)

Haber7.com「ケルオーラン洞窟、プロモーション支援を求める」(2011年2月26日)

<http://www.haber7.com/haber/20110226/Keloglan-magarasi-tanitim-icin-destek-istiyor.php> (2012年6月18日)

トルコ共和国ホナズ市「ハムッカレの地下の景色、カクルク洞窟」<http://www.honaz.gov.tr/Templates/skak.html> (2012年6月18日)

デニズリ文化・観光地方総局「洞窟観光旅行」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=661> (2012年6月21日)

トルコ共和国ギュネイ市「私たちの滝とダム」<http://www.guney.gov.tr/index.php?icerik=5> (2012年9月3日)

トルコ共和国文化観光省、文化遺産・博物館総局、「世界遺産暫定リスト」

<http://www.kulturvarliklari.gov.tr/TR,44395/dunya-miras-gecici-listesi.html> (2012年9月5日)

トルコ共和国文化観光省、文化遺産・博物館総局「セルジューク・キャラバンサライ・デニズリ・ドゥーバヤジットルート」

<http://www.kulturvarliklari.gov.tr/TR,44413/selcuklu-kervansaraylari-denizli-dogubayazit-guzergahi.html> (2012年8月5日)

トルコ共和国デニズリ文化・観光地方総局「アクハン・キャバランサライ」<http://www.pamukkale.gov.tr/TR/Content.asp?id=625>
(2012年9月5日)

Denizli.org「デニズリ・アクハン キャバランサライの観光地」<http://www.denizli.org/denizli-akhan-kervansarayi.php> (2012年9月5日)

コチ メー「アクハン・キャバランサライ:デニズリ史の鏡」デニズリ・ハヤット、デニズリ市、生活・都市文化マガジン、18-23ページ、デニズリ
(2010年)

「過去から現在までのボズクルト」トルコ共和国デニズリ行政地区、四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン、第5号、6-13ページ

Yuzhaber.com「伝統的な荘園の復活」(2011年4月14日)

<http://www.yuzhaber.com/root.vol?title=tarihi-konak-hayat-buldu&exec=page&nid=328336> (2012年7月6日)

「ブルダン住居」<http://buldanevi.com/index.php?page=hakkinda> (2012年7月6日)

「歴史的なババダー住居」トルコ共和国デニズリ行政地区「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」第9号、22-27ページ

デニズリ文化・観光地方総局「観光旅行の種類、温泉健康旅行」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=544> (2012年6月5日)

ブルダン市、織物、「ブルダンの布」

http://www.buldan.bel.tr/buldan/index.php?option=com_content&view=article&id=153&Itemid=753 (2012年6月11日)

ドウ エ「クズルジャブルクの織物史」<http://www.kizilcaboluk.biz/dokumacilik.htm> (2012年9月7日)

イエシルユワ靴職人の小規模産業地帯振興協同組合、イエシルユワ靴職人「小規模産業地帯」http://yesilyuva.orgfree.com/index_dosyalar/Page322.htm (2012年9月13日)

アイギュン テー「手作りの靴、42カ国へ出荷」デニズリ ギュンデム (2012年2月9日)
<http://www.denizligundem.com.tr/tr/haberler-el-emegi-ayakkabilar-42-ulkeye-gonderiliyor.html-incele> (2012年9月13日)

イエニ オライ「銅職人最後の代表作」(2012年6月19日)
<http://denizliyeniolay.com.tr/tr/haberler-bakircilarin-son-temsilcisi.html-incele> (2012年6月25日)

「数千年もの歴史を持つ深い職業」デニズリ ハヤット、生活・都市文化マガジン、15-19ページ、デニズリ (2010年)

セリンヒサルの陶器、トルコ共和国デニズリ行政地区「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」第07号、40-45ページ

トルコ共和国デニズリ文化・観光地方総局「ツーリズム、手工芸品、伝統的職業、地元の手工芸の種類」(2010年2月24日)
<http://www.pamukkale.gov.tr/TR/Content.asp?id=636> (2012年9月13日)

Denizlihaber.com「インカ、このフルーツをヒーリングに使用」(2012年4月11日)
<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/tarim-ve-hayvancilik/bu-meyveyi-inkalar-tedavide-kullanmis/> (2012年7月11日)

トルコ共和国デニズリ食品・農業・畜産地方総局「トルコ認定のミルク牧場14か所のうち7か所がデニズリの農場」
<http://www.denizlitarim.gov.tr/> (2012年6月22日)

デニズリギュンジェル「戦略的計画の第一歩、始まる」(2012年5月21日)
http://www.denizliguncel.com/stratejik-planin-ilk-ayagi-basliyor_5061.html (2012年5月28日)

トルコ共和国デニズリ県「デニズリの新しい民謡」、デニズリギュンジェル、
<http://www.turkuler.com/nota/tumyoreler.asp?yoresi=D&s=2> (2012年5月30日)

Neredennereye.com「デニズリ、祭り」<http://www.neredennerereye.com/turkiye/denizli/festivaller/> (2012年5月30日)

トルコ共和国デニズリ行政地区「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」第4号、2009年8月～10月

トルコ共和国デニズリ行政地区「デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン」第5号

デニズリ・ハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、デニズリ、2011年

エフェソイ、イエー「文化と芸術が語る伝統的な地：デニズリ市営芸術学校」デニズリ・ハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、6-11ページ、デニズリ、2011年

「文化への大きな支援：デニズリ民謡」デニズリ・ハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、60-61ページ、デニズリ、2011年

ウィキペディアフリー百科事典「イブラヒム チャッル (イブラヒム・チャルル)」
http://tr.wikipedia.org/wiki/%C4%B0brahim_%C3%87all%C4%B1 (2012年)

トルコ共和国デニズリ文化・観光地方総局「デニズリの有名人、ハイリ・デヴ」<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=556>, (2012年)

ウィキペディアフリー百科事典「セラハッティン プナル (セラハッティン・プナル)」
http://tr.wikipedia.org/wiki/Selahattin_P%C4%B1nar (2012年)

ウィキペディアフリー百科事典「テキン・アクマンソイ」

http://tr.wikipedia.org/wiki/Tekin_Akmansoy#Rol_ald.C4.B1.C4.9F.C4.B1_tiyatro_oyunlar.C4.B1(2013年)

デニズリ県、都市健康プロフィール、世界健康協会、健康都市プロジェクト

Denizlihaber.com「デニズリ、パムッカレと雄鶏に続き、ケバブで有名に」(2012年4月11日)

<http://www.denizlihaber.com/turizm/turizm-genel/pamukkalesi-horozu-derken-denizli-artik-kebabıyla-da-taninacak/>
(2012年4月11日)

バーヌ アタバイズ lezzetler.com、レシピのホームページ「乾燥ササゲのスープ (デニズリ)」

<http://lezzetler.com/kuru-borulce-corbasi-denizli-vt6847.html> (2012年6月)

レッゼト「チャプトアシュ (デニズリ)」<http://www.lezzet.com.tr/caput-asi-denizli/tarif/3377c84.aspx> (2012年6月5日)

カナル デー ムトファーウム、「ドライエッグプラント (ナス) の肉詰めレシピ」(2012年2月20日)

<http://haber.kanald.com.tr/Haber/Yemek-Tarifleri-31/Kuru-Patlican-Dolmasi-tarifi-28521.aspx> (2012年6月6日)

デニズリ文化・観光地方総局「料理文化、地元の味、オリーブオイルでつくるナスの肉詰め」

<http://www.pamukkale.gov.tr/yemekler/yemek/> (2012年9月6日)

「地元の味、デニズリデライト」トルコ共和国デニズリ行政地区、デニズリの四季の文化・芸術・旅行・都市マガジン、第4号、72ページ、2009年8月～10月

Denizlihaber.com、「デニズリでつくられたFetih 1453のコスチューム、ファッションショーで展示」(2012年2月19日)

<http://www.denizlihaber.com/kultur-sanat/kultur-sanat-genel/fetih-1453un-denizlide-dokunan-kostumleri-defileyle-tanitildi/>
(2012年6月12日)

Sondakika.com、「デニズリの歴史的な映画やシリーズものに見られる衣装」(2012年1月17日)

<http://www.sondakika.com/haber-tarihi-film-ve-dizilerin-kostumleri-denizli-den-3275505/> (2012年6月13日)

ハベル ビトリニ「ブラッド・ピットの衣装、デニズリから生まれる」(2003年8月9日)

<http://www.habervitrini.com/haber/brad-pittin-kostumleri-denizliden-gidiyor-94704/> (2012年6月12日)

「デニズリの織物、ハリウッドを飾る」http://www.arkaslojistik.com.tr/pages/arkas_news/nisan_2004/haber6.html (2012年6月18日)

タイムアウト イスタンブール(スレイマン エルタシュ)インタビュー」(2011年5月)

<http://www.timeoutistanbul.com/alisveris/makale/2250/S%C3%BCleyman-Erta%C5%9F-r%C3%B6portaj%C4%B1>
(2012年6月18日)

デハ20「パムッカレのビューティ!」、<http://www.deha20.com/magazin/pamukkalede-bir-guzel.htm> (2012年7月20日)

Denizlihaber.com「デニズリ、166か国へ輸出」(2012年5月28日)

<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/ekonomi-genel/denizli-166-ulkeye-ihracat-yapiyor/> (2012年5月31日)

Denizlihaber.com「イブラヒム・タンの宮殿の織物」(2012年3月9日)

<http://www.denizlihaber.com/magazin/magazin-genel/sarayin-kumaslari-denizlili-ibrahim-tandan/> (2012年5月15日)

インターネットソンハベル「王家のウェディングをデニズリからタオルで招待」(2011年4月26日)

<http://www.internetsonhaber.com/magazin/kraliyet-dugununun-havlu-davetiyeleri-denizli8217den-h4893.html> (2012年5月15日)

セ.セ, ギョズレル, 農業開発組合「今年のタイム生産見込み、9,000トン」(2011年7月21日)

http://www.ssgozler.com.tr/Haber_Detay.aspx?id=7 (2012年5月15日)

個人実業家協会「EU交渉過程に向けてのトルコ経済、地域・部門別問題の解決策の提案、リサーチレポート」イブラヒムオズテュルク編、イスタンブル (2005年)

Denizlihaber.com「ブランドは機関車を引く」(2012年4月11日)

<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/ekonomi-genel/lokomotifi-marka-cekecek/> (2012年4月11日)

トルコ共和国南エーゲ開発機構「第2級地方 (アイディン - デニズリ - ムーラ) 2010年～2013年地域計画」

Haberler.com「デニズリ・トラバーチンが登録される」(2012年3月19日)

<http://www.haberler.com/denizli-traverteni-tescillendi-3463207-haberi/> (2012年7月20日)

コジャバシュ市「地理的特徴」http://www.kocabas.bel.tr/Ozel_Sayfalar.aspx?id=17 (2012年7月20日)

Denizlihaber.com「デニズリ地方の煎りひよこ豆」(2011年12月25日)

<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/tarim-ve-hayvancilik/ulkenin-leblebisi-denizliden/> (2012年7月20日)

エゲヨン「セリンヒサルの煎りひよこ豆製造業者小規模産業ゾーンのためのインフラ掘削作業が開始」(2011年11月26日)

<http://www.egeyondergisi.com/?page=haberdetay&haberid=7133&kategoriid=> (2012年7月20日)

Denizlihaber.com「デニズリ・煎りひよこ豆が登録される」(2010年10月19日)

<http://www.denizlihaber.com/ekonomi/ekonomi-genel/denizli-leblebisi-tescillendi/> (2012年7月20日)

イエニアスル「デニズリ、家畜・農業で前進」(2011年8月21日)

<http://www.yeniasir.com.tr/Ekonomi/2011/08/22/denizli-hayvancilik-ve-tarimda-one-cikti> (2012年7月20日)

「デニズリの野鳥観光」デニズリハヤット、デニズリ市・生活と都市文化マガジン、387ページ、デニズリ、2010年

ミッリエット「デニズリから生まれたミラン、ユヴェントス、インテルのタオル」(2011年11月25日)

<http://spor.milliyet.com.tr/milan-juventus-ve-inter-in-havlulari-denizli-den/spor/spordetay/25.11.2011/1467354/default.htm>, (2012年7月3日)

トルコ共和国デニズリ文化・ツーリズム地方総局「ツーリズムの種類、食文化、地元の味」

<http://www.pamukkale.gov.tr/tr/content.asp?id=550> (2013年5月3日)

トルコ共和国南エーゲ開発機構デニズリ投資支援事務所、「デニズリの投資機会」(2012年)

安全な投資のために
デニズリ
現場サポート
デニズリ
いつもあなたのそばに。

デニズリ投資支援事務所
どのような支援をご希望ですか？

- ＞ 都市と投資機会のプロモーション
- ＞ 投資フォローや技術サポートの提供
 - ＞ 代替投資分野の情報提供
 - ＞ 投資レポートの起草
 - ＞ 投資のマッチング
- ＞ トルコの支援メカニズムの情報提供
- ＞ 国による投資支援についての情報提供
 - ＞ 支援機関についての情報提供
- ＞ 投資顧問による許可や免許の手続きのフォローアップ

これらが、私たちにお手伝いできることです

注

Blank lined area for notes, consisting of 20 horizontal dashed lines.

トルコ共和国南エーゲ開発機構
デニズリ投資支援事務所
EGS Park Kongre ve Kültür Merkezi 20085 Denizli / TÜRKİYE
電話: +90 258 371 88 44 ファックス: +90 258 371 88 47
電子メール: info@geka.org.tr-denizli@geka.org.tr

アイディン投資支援事務所
Ata Mahallesi Denizli Blv.No:18
Aydın Ticaret Borsası Hizmet Binası Kat:6 Aydın / TÜRKİYE
電話: +90 256 211 0 216-217 ファックス: +90 256 211 0 213
電子メール: aydin@geka.org.tr

ムーラ投資支援事務所
Şeyh Mahallesi Turgutreis Caddesi
Belediye Kapalı Otoparkı Kat:1 Muğla / TÜRKİYE
電話: +90 252 213 17 92-93 ファックス: +90 252 213 17 82
電子メール: mugla@geka.org.tr

www.geka.org.tr
GEKA 出版番号: 0018

ISBN No: 978-605-64988-3-1

